DATA PROCESSOR

Publication number: JP8251373 Publication date: 1996-09-27

Inventor: FILIIWARA KATSUYOSHI: ISHIKAWA KATSUTOSHI:

UBUKAWA ATSUSHI

Applicant: SHARP KK

Classification:

G03G21/00; H04N1/00; H04N1/21; H04N1/32;

G03G21/00; H04N1/00; H04N1/21; H04N1/32; (IPC1-7):

H04N1/32; G03G21/00; H04N1/00; H04N1/21

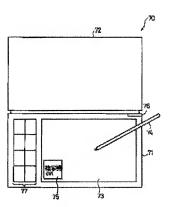
- European:

Application number: JP19950050070 19950309 Priority number(s): JP19950050070 19950309

Report a data error here

Abstract of JP8251373

PURPOSE: To improve the job efficiency without operating and occupying an image forming device for a long time by providing a communication control means controlling a transmission means to send image information based on received communication control information. CONSTITUTION: The operator uses an external operation terminal equipment 70 to set communication control information including cross reference between a telephone number in facsimile communication and a name of transmission destination. Then a 1st transfer means of the external operation terminal equipment 70 transfers communication control information from the external operation terminal equipment 70 to an image forming device main body. Then a 1st reception means of the image forming device main body receives communication control information transferred by the 1st transfer means. Then a communication control means of the image forming device main body side controls a transmission means to send image information based on the communication control information received by the 1st reception means. Thus, the area of the operation to set the communication control information by the operator is made wide.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(43)公贈日 平成8年(1996)9月27日 特開平8-251373

(11)特許田康公開番号

51)Int.Cl.*		新州田	广内模组等中	F1			技術表示循序
H04N	1/32			H04N	1/32	E	
G03G	21/00	396		G03G	21/00	396	
H04N	1/00	107		H04N	700	107Z	
	1/21				1/21		

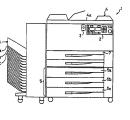
審査網次 未搬次 請求項の数8 OL (全31 EU)

			(22)出版日	(21)田瀬津号
			平成7年(1995) 3月9日	特爾华7-50070
(74)代程人	大阪院大 ヤープ茶 (72)発明者 生川 篇	(72) 発明者	(72)発明者	(7)出版人
大阪森大阪市阿倫野区 奥加丁2基20年 シャープ株式会批内 マープ株式会批内 (74)代拠人 外班土 原 #三	大阪府大阪市阿倍野区長地町22年20年 シャープ株式会社内 生川 第	大阪府大阪市阿希野区長礼町20第23号 シャープ株式会社内 (72)発明者 石川 克使	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 (72)発明者 藤原 勝良	(71)出版人 0000/5049
140				

(54) 【発明の名祭】 データ処理装置

るID 静ちからその教育職未接近の改正可能範囲を判定 ら制御信報を受信すると、受信した制御信報内に合まれ 端末接続のID番号と各携帯端末接置で設定回能な信用 転送する鉄器端末装置とを備え、振写機本体1が、映音 体1と、画像形成を影響する影響情報を複算機木体1に し、実際にその情報に従った西賓形成製西本体を知道す を斥す設定可能範囲とを記憶している。携帯端末装置が 【構成】 デジタル被写機は、衝像を形成する被写機な

よって不用数に複写機本体1の重要な設定が変更される 用者が一般の使用のための精帯指末装置を用いることに ことがなく、作業効率が向上する。また、手間が多くか 不具合が減少する。 からないのか、製活在紙片浴場になる。果た、一番の家 【効果】 長時間幾写機本体1を動作させずに占有する らための建算技能や過去する。



「特許請求の範囲」

送手段を有する外部操作指末機器を備え る送信手段を有する興保形成装置木体を備えたデータ処 上記通信閱傳信報を興像形成装置本体に振送する第1标

画像形成装置木体が

を受信する第1受信手段と 第1転送手段によって転送されてきた上記通信制御情報

データ処理装置。

ている通信協御情報記憶手段と あらかじめ、通信脚鎖消骸を少なくとも1組以上防御し

第1個選手段によって製造されてきた通信制導情報と **通信無害指集活動手吹が活動したいる通信患害症集とや**

元数字の元数字数で、

直接形成装置本件が

上記画像作物を受信する画像受信半段と 上記画像信袋や被脳木存へ指送する画袋指送手段とや線 画像情報を発生させる遠隔画像情報発生手段と

【請求項 5】外部操作權未職聯が

ことを特徴とする請求項 2 記載のデータ処理装置。 て、通信制御信報に総手収内の通信制御信報を更新する 遊貨機や通信影響貨権問務半級に関係がわることになる りに、外部操作指末機器によって転送されてきた適合制 数した、通信影響情報記載手段圏の通信影響情報の代む 第1 転送手段によって転送されてきた通信影響情報のほ る経緯情報との新田を判断し、 と、対応する、通信附御情報記憶手段内に記憶されてい されてきた上記通信影御情報に含まれる上記経媒情報 を判断し、一致したときに、第1表送手段によって転送 吸内に記憶されている送信先の名前とが一致するか否か 上記過言制算情報の送信先の名曲と通信影響情報記憶手

第1 転送手段によって転送されてきた通信制御情報のご とによった、通信態等症務児病半吸引の通信気等姿態を た通信制御指摘を通信制御指摘的標序表に記載させるこ でいない場合には、外部操作端末機器から伝送されてき

過されてきれ通信整算音楽のうちの場信先の名様が土賃 長1 沼裁のデータ処理装置。 極信選修指格指荷手吸名に開稿されており、から、対応 【請求項3】上記的数手級が、第1指送手級によって格

に対応する、通信制御情報記憶手段に記憶されている他 話番号を、外部操作疑末機器から転送されてきた電話を 異なる場合には、上記更新手段が、上記の透信先の名前 祭のうちの街話番号と異なるかどうかを判断し、 号が、第1個送手段によって仮送されてきた通信影響が する、適信整導指数認識手吸引に記載されている無話を

のテータ処理装置 通信国御情報を更属することを特徴とする請求項2記載 号に変更することによった、適信御御情報記載手段内の

【請求項 4】外部操作檔末機器が

重確形成被取木存におされ、 経緯情報を付加する経緯情報付加手段を購え 先の名前との組み合わせからなるデータの新しさを示す 復居番号と送信先の名前とともに、その復居番号と送信 通信製御情報を設定すると、上記通信制御情報の中に

とともに、その電話番号と遠信先の名前との組み合わせ からなるデータの厳しさを示す経緯信報を記憶してお 上記通信期御情報記録手段が、名話番号と送信先の名曲

御行祭に挟んいて、通信回義を通じた関係信報を送信す 先の名前との対応を含む、適信を制御するための通信制 【類果項1】ファクシミリ連信における知路等号と送信

8

上記比数手段が、第1個送手段によって翻送されてきり

第1受信手段によって受信された上記通信所得情報に基

よった情報されたきた過信制資情報の送信先の名詞と

うが新しい場合には、上記更新手段が、第1転送手段に

制御する通信制御手段とを鍛えていることを特徴とする **心いた、順像情報の遺信を行うように、上記送信手収を** 【弱求項2】簡像形成装置本体が

ちの送信先の名詞が通信制導信祭記物手吸内に記録され

更新する更新手段とを備えていることを特徴とする研求

年段とを備えていることを特徴とする請求項1記機のデ 保信祭とすることによった国家信報を指信する直復指信 面像受信手段が受信した画像情報をデータ処理を行う面

8

成装置木体を備えたデータ処理装置において 【請長後6】匿録信録に指んいた屋袋や形長する屋袋所

直復形成装置本体が に転送する第1転送手段を有する外部操作端末機器を備 国復形長や影響するための影響指数や国復形長後野木谷

第1転送手段によって転送されてきた制御情報を受信す の対応を、あらかつめ記載している職別指集記録中期 外部操作猶未機器に固有の情報である識別情報と、各名 部操作指末機器で設定可能な範囲を示す設定可能範囲と

存結末機器の機別情報を探し、機別情報があればそれを 受信した影響指摘の中から、影響指数を表送した外部脚 第1受信手段が制御情報を受信すると、第1受信手段が る第1受信手段と、

抽出手段が抽出した識別情報と、識別情報記憶手段が記 抽出する抽出手段と、

塩末機器の設定可能範囲を判定する設定可能範囲判定手 応する、機別情報問題年度が問題している数定回信範囲 億している疑別指摘とを民教し、それが一致すれば、対 を認みだすことによった、影響情報を根送した外部操作

に従って直接形成装置水体を影響するための影響情報の 操作端末機器の設定可能範囲に応じて、実際にその情報 制御情報のうち、設定可能範囲判定手段が判定した外部

段とを値えていることを特徴とするデータ処理装置 成装団本体を備えたデータ処理装置において、 **みを選択することによって、制御信報を指定する前定手** 【請求項7】 画像情報に落めいた函像を形成する画像形

9

に転送する第1転送手段を有する外部操作環末機器を修 直接形成や無理するための無理症後や直接形成後間不存

第1 転送手段によって転送されてきた上記制御信報を領 第1転送手段によって転送されてきた上記制御情報を受 1 受信手吸が受信すると、その制御信義に扱んいて接信

に転送する第2転送手段とを備え、 動作不可能な場合は、上記期御浴類を外部操作指米機器 作しないようにデータ処理を制御する制御手数と、 するようにデータ処理を削御し、動作不可能な場合は動 製作色気中吸の地気に指力いた、製作回籍な場合は製作 本体が動作可能か否かを判定する動作判定年段と、

信する第2受信手段を備えていることを特徴とするデー 第2位送手版によって伝送されてきた上記監察情報を収

第2受信手段が受信した上記制御信報を記憶する不同信 【計水項8】外部築作指米裝器が

透測御手取とを構えていることを特徴とする請求項7官 不可信報記憶手段が記憶している制御信報を再像形成装 四本体に振送できないように第1振送手段を削御する転

【発明の辞額な説明】

【従来の技術】従来、デジタル複写機に代表される画作 リンタ機能を購えた後年職等のデータ処理被殴に関する 【産業上の利用分野】本発明は、ファクシミリ機能やフ

に操作パネルが設けられており、この操作パネルを用い 要作くネルや経職用他につ、本存と操作くネットのイン 【0004】また、特限平5-19551号公報には、 て装置の各種制御内谷の設定を行うようになっている。 【0003】上記の画像形成装置には、装置本体の一部 し、それに伴い大型化し、また高速化が常に図られてい **レコンル 機能やレアクツミコ 機能や芯しなど多数組元** 悉民被国体のデータ高級被囚兵、後分義第六テルなへ、

> 易に行えるようになっている。 された名前データとから、電話板データの追加を繋が着

【0005】また、ファクシミリ装置の多機能化によ 像形成装置の設定が回信になっている。 後間が国示されている。これにより、舞れた場形から囲 よった、操作パネラをジネロンとつに包囲とも問復形成 ターフェースを、赤外線を突とした無線接続することに

> 識別記号および相手先電話番号を表記した透信原稿表類 のようなファクシミリ装置においては、それぞれに表揮 航光呼し、特定部分以外の原稿を相手先に自動的に送信 原稿表紙から読み取り、読み取った相手先指話番号に自 信原稿表紙の創走査方向先頭部に表紙機別記号を設ける するようにしたファクシミリ装置が提案されている。 とともに、研先問席の次の部分に相手先衛語番号を記入 いる。例えば、特開平3-262269号公儀には、 要紙藻別記号を検出した際に相手先進話番号を送信 様々の機能を備えたファクシミリ装置が提案されて

は、原核に中間調素度で表記された文字または中間調査 【0006】また、特圖平4-140963号公報に 種類の送信原稿をそれぞれ異なる相手先に自動的に送信

合わせてファクシミリ製造にセットすることにより、 を付けた状態で相手先の異なる多種類の送信原稿を重ね

× り装置が開示されている。 度で指定された領域内の文字を相手先電話番号として表 【0007】上記物頭平3-262269号公報では **専別な過信シートを不要にたきるようにしたファクシミ み取って自動発呼することにより、復話番号を記載した**

【0008】回模に、上記物田平4-140963号公 との両方を表記しなければならず、送信時の原稿作成件 があり、透信原稿に不同欠な施て先名と相手先信話番号 専用の送信原稿表紙に相手先の電話番号を表記する必要

株では、中間側の過度の筆記具により、相手先の包括番

他している旧話番号データと電話番号に続いて手動入力 入力された治語器やデータを一時記録しておき、一時流 話番号を手動入力して発信するダイヤル発信時に、 話番号を検索し、自動発酵するものである。そして、泡 発信時に、操作者が入力した相手先の名前に揺んいた領 名前とを追詰板データとしてあらかじめ記憶しておき、 に開示されたダイヤル発信装置は、電話番号と相手先の 【0009】これに対し、特開平6-22022号公領 原稿作成作業が複雑化する。 の西方を原提に消費しなければならず、やはり活信等の 必要があり、送信原稿に不可欠な宛て先名と道語番号と **分の表記または電話番号部分を特定する胸域指定を行う**

られている。このため、複雑な動作の設定を行うときに あるため、上記案件スネルに当てるスペースが非常に限 が大型化する一方で、原数を買く回額を多く取る必要が ながら、上記従来の画像形成装置においては、装置全体 <精御内容を設定する必要が発生してきている。しかし 形成装置は多機能化してきているため、従来以上に締め 【発明が解決しようとする課題】上記したように、開稿

は複雑な操作行動が必要となるので、時間と手間がかか

に占有することになり、作業効率が悪いという問題があ る。この結果、長時間、その國像形成装置を動作させず る。また、手間が多く、設定作業が困難であるという思

は、単に操作スネルを推奨用語にしただけなので、上述 した複雑さの問題は解消されない。 【0011】なお、上記物開平5-19551号公報で

A、関係形成製造の重要な設定させる原則・メンデナン 更することが誰でも回信なため、そのような行為によっ **薬行パネラや用いれ、直復形成状間のすべれの提供や板** 【0012】また、一体化したあるいは取り外し可能な

は、操作パネルを装頭木体から着房间能にしたため、そ ネルで機能を設定すると、装置が膨動作する恐れがある 接野本各種に乗更を加えた場合で、今まで通りで操作し 存電の板板が破存パネル層に反映されない。そのため、 の製置で使用できる機能を変更してもそのような装置す 【0013】また、上記物開平5-19551号公報で

という理器がある

番号に対応する相手先の名前とを手動入力する必要があ るが、上記のような操作パネルを用いて行わなければな たは、発送像ファイルの引張に当れった価格を与る信息

信を行うように、送信手段を影響する通信影響手段とを 情報を受信する第1受信手段と、第1受信手段によって 信物監察するための通信無害症装言拗してれ、通信回答 信における復活参与と送信先の名前との対応を含む、通 め、請求項1記載のデータ処理装置は、ファクシミリ道 **収留された「団通信無管指揮に持んされ、直接在版の説** が、第1個選手段によって報送されてきた上記通信監算 する外部操作端末機器を備え、上記層像形成装置木体 御情報を画像形成装置本体に転送する第1転送手段を有 装置本体を備えたデータ処理装置において、上記通信制 を通じて興保情報を送信する送信手段を有する困機形成 【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するた

制御情報のうちの送信先の名前が通信制御情報記憶手段 比較手段と、第1転送手段によって転送されてきた通信 信報活動手段が活動している通信短導情報とを式数する 内に記載されていない場合には、外郷後信仰末機器から 年度によって物道されてきた過信整御資数と、過信整備 組以上記憶している適信制御情報記憶手段と、第1転送 製原本体が、あらかじめ、通信制御信報を少なくとも 米項123歳のデータ処理装置の構成においた、興業形成 【0016】請求項2記載のデータ処理装置は、 上記器

Ξ 信制御情報を更新する更新手段とを備えていることを特

ス等用の設定が不用意に変更されるおそれがあるという

問題がある。

らないため、電話板データの作成処理が煩雑化するとい 【0014】さらに、上記勢関平6-22022号公案

備えていることを特徴としている。

記憶させることによって、適信制御情報記憶手段内の道

物手吸に記憶されている循語者号を、外部操作端末機器 よって根拠されてきた適信制解情報のうちの権話番号と 信手段内に記憶されている電話番号が、第1伝送手段に 内に記載されており、から、私持する、過言無害在集員 が、第1転送手段によって転送されてきた上記通信制御 から転送されてきた場話器号に変更することによって、 股が、上記の送信先の名前に対応する、通信制御情報記 異なるかどうかを判断し、異なる場合には、上記更新手 情報のうちの送信先の名音が上記通信影響音楽記憶年段 2 記載のデータも単数数の構成において、上記比較手段 【0017】請求項3記載のデータ処理装置は、請求項

機器が、通信影響情報を設定すると、上記通信影響情報 2 記載のデータ処理装置の構成において、外部操作指束 を存在としている。 通信医療指数回荷斗吸内の通信影響指数を更終すること 【0018】請求項4記載のデータ処理装置は、請求項

で、第1市場手段でよって市場されてきた上門通信制度 信先の名前とが一致するか否かを判断し、一致したとき 信制御信報を通信制御信報記憶手段に記録させることに 示す経緯前機を記憶しており、上記比較手吸が、第1を が、電話番号と送信先の名前とともに、その電話番号と 号と送信先の名前との組み合わせからなるデータの新 の中に、電話番号と送信先の名前とともに、その電話器 することを特徴としている。 よって、通信影響情報記憶手段内の通信影響情報を更新 代わりに、外部帯中指米機器によった情報されたされ道 と一致した、適信指導指集的領手設備の適信影響信義の **吸によって転送されてきた通信監御資数の送信先の名**章 のほうが新しい場合には、上記更新手段が、第1帳送手 し、第1転送手段によって転送されてきた通信制御情報 報記稿手段内に記録されたいる無謀指数との原田を生更 情報に含まれる上記経緯情報と、対応する、適信制御情 先の名前と通信整御情報記録年限とに記録されたいる送 送手数によって伝送されてきた上記通行影響情報の送信 送信先の名前との組み合わせからなるデータの新しさを 国像形成装置本体において、上四通信回導信報四倍半回 さを示す経緯情報を付加する経緯情報付加手段を構え、 【0019】請求項5記載のゲータ処理装置は、請求場

確定する両像確定手段とを備えていることを特徴として 面接受信手段と、直接受信手段が受信した面接情報をデ **炎獨文、國際形成製造本体が、上記國家情報を受益する** と、上記頭像情報を装置木体~振送する画像転送手段と 機器が、衝債情報を発生させる遠陽関像情報発生手段 1 記機のデータ処理技匠の構成において、外部要示題

一夕処理を行う回復情報とすることによって函復情報を

【0020】請求項6記載のデータ処理装置は、直像禁

教送されてきた通信整御信報を通信無害背報的物件校に

別信報とを比較し、それが一致すれば、対応する、譲り 田した篠別首権と、羅別信権活動手段が活動したいる語 情報があればそれを抽出する抽出手段と、抽出手段が有 報を転送した外部操作端末機器の識別情報を探し、課別 と、第1受信手段が受信した影響信仰の中から、影響信 5第1受信手段と、第1受信手段が制御情報を受信する 第1 荒選手殴によって荒選されてきた超雄信後を受信す 対応を、あらかじめ記憶している識別情報記憶手段と、 操作端末機器や設定可能な範囲を示す設定可能範囲との 部操作端末機器に因有の信頼である識別併報と、各外部 する外部操作端末機器を備え、画像形成装置本体が、タ 御情報を画像形成装置木体に転送する第1転送手段を有 データ処理装置において、回像形成を制御するための世 報に基づいて画像を形成する画像形成装置木体を備えた

倒えていることを勢振としている。 **択することによって、影響情報を確定する確定手段とを 八田保形成状間本体を回貨するための影響指数の体を追** 米泰路の役託三橋衛屋ご沿つれ、実際ごその信仰に従る 権のうち、環境回籍後囲生活半段が共活した外部破合な 近月鐵箱囲を判定する設定可能範囲判定手段と、制御付 とによった、影響信義を転送した外部操作端末義器の語 信報記録手段が記録している設定回信機图を読みだすこ

きた上記別郷債権を第1受信手段が受信すると、その制 する第1受信手段と、第1転送手段によって転送されて する外部操作端末機器を備え、国像形成装匠本体が、短 御信報を囲傷形成装置木体に転送する第1転送手段を右 データ処理機能において、囲機形成を影響するための影 権に指んいた直領を形成する国家形成後哲本体を指えた 1 概治手段によって物道されてきた上記部部指摘を反応 【0021】請求項7記載のデータ処理製設は、断集官

記制御信報を受信する第2受信手段を備えていることを 操作組末機器に転送する第2転送手段とを備え、外部技 **無御手収と、動作不可能な場合は、上記制御信報を外部** 不可能な場合は動作しないようにデータ処理を制御する 可能な場合は動作するようにデータ処理を制御し、動作 製作並は手吸と、影響単位手吸の地流に関心いた、影響 遊信費に掲んい、「後期冬谷が整合圧組が必ざを流伝する 【0022】請求項8記載のデータ処理装置は、請求項 市場末機器が、第2転送手段によって転送されてきた!

激としている。 送手段を開御する転送制御手段とを購えていることを物 御信報を國籍形成後間木谷に表送できないように第1条 が、第2受信手段が受信した上記塑御行機を記載する不 **単作権消滅手段と、不可信権犯領手段が犯録している別** 7 記載のデータ処理装置において、外部操作編末機器

襲撃で、ファクシミリ通信における信託番号と送信先の 処理装置の構成においては、今操作者が、外部操作端末 【作用】上記の構成により、上記請求項1記載のデータ

8

 対応する、通信短途指揮活動甲吸引に活動されてい が上記通信前導情報記憶手段内に記憶されており、か 東路から西線形成製器本体に上記通信製御音線を指送を 外部操作指求機器側で、第1転送手段が、外部操作端末 名前との対応を含む通信制御情報を設定する。すると、 S

記述信手段を影響する。 股が、第1伝送手段によって転送されてきた上記通信制 劉錦信教に掲しいて、原保指数の送信を行うように、 劉御手段が、第1受信手段によって受信された上記通信 御信報を受信する。次に、画像形成装置木体舞で、通信 【0024】状に、両像形成装置本体側で、第1受信手

御信祭を設定するための操作する部分の面積を広くする 操作スキラを道院操作するのと異なり、操作者が通信観 た操作スネルや、画像形成装置木体から吸り外し回信な 【0025】このため、画像形成装置本体に一体化され

る。また、手間が多くかからないので、設定作業が容易 動作させずに占有することがなく、作業効率が向上す のに複雑な操作行動が必要ないので、時間と手間がかか **らない、これにより、坂島田、木の画像形成楽園本学や** 【0026】したがって、複雑な動作の金製定を終える

保付款を退信することができる。 するだけで、顕像形成装置本体から適信回線を通じて顕 【0027】また、このような外部操作過末機器を操作

61組以上記憶している。 八、過信型等症後近衛甲駅が、通信総管原準や少なへい の構成により、あらかじめ、極線形成製器本体盤におい 【0028】また、上記請米項2記載のデータ処理装置

【0029】今、上記請求項1記載の作用と同様にし

れてきた上記通信制御信報と、通信制御情報記憶手段が て、第1受信手段が、第1転送手段によって転送されて ことによって、通信制御信保記憶手段内の通信制御信修 きた通信関係情報を通信制制情報問題手段に記憶させる 体値で、更新手段が、外部走査端末機器から伝送されて 億手段内に記憶されていない場合には、開像形成装置本 適信制御信頼のうちの送信先の名前が、通信制御情報記 【0030】第1報選手段によって報道されてきた上記 活物している通信塑御情報とを比較する。 四本体側で、比較手段が、第1素送手段によって表送さ 会た上別追信信仰指揮を収信すると、次に、直復形成型

伝送されてきた上記通信制御情報のうちの送信先の名前 の構成により、上記比較手段が、第1転送手段によって により、上記請求項1記載の構成による効果に加え、電 【0032】また、上記湖米項3記載のデータ処理装置 語板データの作成処理の複雑化を防止できる。 る相手先の名前とを容易に入力できるようになる。これ 【0031】したがって、掲話番号と電話番号に対応す

を更解する。

記通信制御指報のうちの指語券号と異なるかどうかを判 る臨話番号が、第1転送手段によって転送されてきた上

されている道話番号を、外部走査掲末機器から転送され 1280年段内の通信整御街袋を更集する。 てきた電話番号に変更することによって、通信制御情報 送信先の名前に対応する、通信制御信集記憶手及に記憶 【0033】異なる場合には、上記更新手段が、上記の

副御揖報記憶手段が、包括番号と送信先の名前ととも

るデータの厳しさを示す結構信義を活動している。

信権の新しさを斥す組得信頼を付加する。 祭付加手段が、上記過信制等有条の中に、上記過信制等

億年段曹の該当する通信制御信頼の代わりに、外部操作 が判断した場合には、上記更新手段が、適信制御供養記 線指指がボナデータの新しさより新しいと上記比較手段 する、通信報の情報記憶手段内に記憶されている上記録 に含まれる上記経緯指根が示すデータの難しさが、対応 び、第1報送手数によって指送されてきた上記無導領等 億手段内に記憶されている送信先の名前とが一致し、か きた上記通信整御情報の送信先の名前と通信制御信報を **御招表活動手吹に記載なわるいとにせられ、追信影響が 職未機器によって振送されてきた通信制御信報を通信制**

え、信活機データの作成処理の頻繁化をより一層防止で これにより、上記請米項2記載の構成による効果に加 る相手先の名前とをより容易に入力できるようになる 報記録手段内の通信制御信報を更新する。 【0038】したがって、鑑述着号と電話番号に対応す

生手段によって画像情報が発生する。そして、画像転送 の掲載により、外部操作指米表指摘や、遠隔直接指集発 が土江西像情報を受信し、西保衛定手段が、その西後語 される。画像形成装置木体製においては、画像受信手段 半段によって、上記画業情報が国業委員指数大阪~表記 【0039】また、上記請求項5記載のデータ処理繁質

を行う関係指揮とすることによって関係指揮を飛出す

6

作編末機器を使って作成した画像を用いて、複写やファ 路に因有の信仰である親別信仰と、名外部操作指末機器 クシュリ級日などのデータ処理を迅速で行っことができ

る相手先の名前とをより容易に入力できるようになる。 これにより、上記請求項2記載の構成による効果に加 【0034】したがって、電話番号と電話番号に対応す

に、その信託器号と送信先の名前との組み合わせからな の構成により、重像形成装置本体側において、上記通信 え、電話機データの作成処理の煩躁化をより一層防止で 【0035】また、上記請求項4記載のデータ処理装置

数や政治すると、外部案件指米数器書において、消毒症 【0036】今、外部操作請求機器において通信影響情

【0037】そして、第1個選手数によって報送されて

報を、実際に被写やファクシミり送信などのデータ処理

場所で、操作部分の面積が十分広い面積を持った外部操 【0040】したがって、面像形成装置木体から離れた

成装置木体包で、識別情報記錄手段が、外部操作端末機 データ処理を行うことができる。 加え、より多種多様の直接を用いた特別から迅速に上陸 る。これにより、上記請求項 1 記載の構成による効果に 【0041】請求項6記載のデータ窓際装置は、直接形

かじめ記憶している。 で設定可能な範囲を示す設定可能範囲との対応を、あら 非信報を改定する。 【0042】今、操作者が、外部操作端末機器で各種的

抵迫症権を指送する。 手吸が、外部操作指末機踏から層像形成装置木体に上記 【0044】次に、顕像形成装置本体側で、第1受信手 【0043】すると、外部操作橋末機器側で、第1帳送

設が、第1転送手段によって転送されてきた上記制御情

権を受信する。 【0045】第1受信手吸が影響情報を受信すると、国

像形成装置本体側で、抽出手吸が、第1受信手吸が受信 **米森聯の観別指導を探り、観別存載があればそれを抽田** 【0046】次に、関像形成装置木体側で、設定可能装 **した部選会権の中から、監督委権や表送した外部基合な**

たいる設定回航後囲を読みだすことによった、影響情報 れが一致すれば、対応する、義別信義的毎年既が的際し **別在株団衛州吸が団際したいる観問を集てや男教し、中** を転送した外部操作端末機器の設定可能範囲を判定す 田地伝序吸が、 土活施田岸吸が施田した橋里在株と、網

定可能範囲判定手段が判定した外部操作猶未機器の設定 ぱられ、影響症蓋や癌気中心。 劉木子を影響するれるの無導音機の子を消吹することに **『街徳囲に応じて、実際にその信義に従った画像形成装** 【0047】そして、編成年辰が、影響指数のうち、読 【0048】このため、画像形成技能木体に一体化され

がてきる。 機を設定するための操作する部分の出版を尽くすること **薬疔パネラを道隠薬缶するのと味なり、薬作者が生寒缶** 【0049】したがって、複雑な動作の全段店を終える

竹薬存パネラや、屋寝形長数国本客が心味の外つ圧縮な

のに複雑な操作行動が必要ないので、時間と手間がかか る。また、手間が多くかからないので、設定作業が容易 動作させずに占有することがなく、作業効率が同上す らない。これにより、皮袋間、その面像形成装置木体で

内容を変更できる範囲が異なるようにすることができ ための外部操作階末機器とで、直債形成装置本体の設定 等用の外部操作指末機器と、面像形成等の一般の使用の 【0050】また、画像形成装置の修理・メンテナンス

形成装置木体において、今、接作者が、外部操作端末級 **語れ名楽記御音楽を設済する。** の構成により、衝像指数に指力いた函像を形成する画像 装置本体の重要な設定が変更される不具合が減少する。 **铝碳作品米概器を用いることによった不用部に国保形**組 【0051】また、上記請求項7記載のデータ処理装置 これにより、一般の使用者が一般の使用のための外

制御情報を伝送する。 年段が、外部操作端末機踏から直像形成装置木件に上端 【0052】すると、外部操作端末機器則だ、第1指決

段が、第1報送手段によって報送されてきた上記部御信 【0053】次に、画像形成装置木体調で、第1受信手

協力いた、動作可能な場合は動作するようにデータ処理 画像形成装置本体が動作可能か否かを判定する。 客においた、整合性仮手吸が、木の配律を扱い地心いた 制御情報を第1受信手段が受信すると、函復形成装置オ 【0055】次に、劉御手段が、動作判定手段の判定に 【0054】第1数送手段によって指送されてきた上位

操作縄末機器が、その制御所報を第2受信手段によって **联が、上泗盟御信報や外部衛作指末機昭に指送し、外部** を影響し、動作不可能な場合は動作しないようにデータ 【0056】そして、動作不可能な場合は、第2転送手

機作パネルを遠隔機作するのと異なり、操作者が回復信 様を設治するための操作する部分の回数を尽くすること 竹葉行/4ペラや、屋袋形兵機図本会から思り外つ川部ら 【0057】このため、関像形成装置木井に一体化され

る。また、手間が多くかからないのた、設定作業が発展 動作させずに占在することがなく、作業労争が同じす らない。これにより、長時間、その直像形成装置木件を の二複雑な複合作動が必要ないので、毎回と中国がから 【0058】したがって、複雑な動作の全設定を終える

とがてきる も、両像形成装置木体が摂動作する不具合を解消するこ や疾风した場合で、治尿薬作ではられ機能や設定した。 【0059】また、西奈茨英製商米存れ安田なきる概律

ことができる。これにより、開復形成作業の操作性が同 形成装置本体が動作できない困事信報を知るようにする **限した外部操作権末機器側にいるにもかかわらず、両値** 【0060】また、操作者が、兩偏形成装置本体から返

情報を外部操作権末機器に転送し、外部操作端末機器が の構成により、上記請求項7記載のデータ処理装置と同 様にして、動作不可能な場合に第2転送手段が上記制御 【0061】また、上記請求項8記載のデータ処理装置

その制御情報を第2受信手段によって受信する。

する。次に、不可能報記憶手段が記憶している制御指揮 手股が受信した上記期御前報を不可情報記錄手段が記憶 【0062】そして、外部操作端末機器側で、第2受信

3

然に防ぐことがたきるのだ、外部操作猶未義弱なの場合 果に加え、動作不可能な制御内容を転送する不具合を未 【0063】これにより、請求項7記載の構成による効 反が第1を送手校を開御する。 を面像形成装置本体に転送できないように、転送御御子

性がより向上する。 [0064]

像形成装置としてのデジタル模写機を優に示す。しかし においては、本場形のデータ処断状態の一定とした、層 5。また、外部操作指末機器の一例として、教格端末機 手段のような通信手段を構える披置にも適用可能であ らかじめ制御プログラムを記憶するとともに、無鉄道信 ながら、これに既定されず、他に、何えば、装置内にあ 7に基づいて限別すれば、以下の通りである。本実施例 【炭塩鉤1】本発用の一実施鉤について図1ないし図1

を使用することができるが、これに限定されない。 は、例えばシャープ製P 1 3 0 0 0 (商品名サウルス) **聞としての電子手板を倒に来す。しかしながら、これに** 世十、木炭箔図のデジタル被写覈 (以下、被写職と作中 【0065】(1) デジタル被写機系統の構成 る機器にも適用可能である。なお、上記電子手帳として 間)、メモリ、無線通信手段のような通信手段等を備え 限定されず、他に、例えば、CPU (中央演算処理装

行のを受け合けられるのロネクタをセンを終が設けられ 反転機構7等のオプション装置を踏えている。これらの 原築送り装置4、多股給能力セット5、ソータ6、表異 機本体(西債形成装置本体)の振路の構成を説明する。 る) において被写原稿を教置して複写物を生成する複写 ン製四4~7の製造の有能を獲り機内の内部指摘として **たおり、後5巻本体1はそれらの状態によったオブショ** オプション法四4~7には、接写機本体1個からの制御 【0066】図1に示すように、復写機本体1は、自動

の表現を反転する表現反転機能を有するものもある。 するとともに、原稿合4b 元においてスキャン処理が終 えられている結束カセット8、手煎しトレイ9に加えて a、5 b、5 cから成り、被写版本体1にあらかじめ値 【0068】多段結紙カセット5は、結紙カセット5 丁した原稿を排棄部4cへと排出する装置であり、原幕 したジート状の原稿を一枚んの敷着に原稿台46へ拾送 【0067】自動宗福送り装置4は、原稿台4aに義置

トレイ 9、指摘力セット5 a、5 b、5 cのいずれかか 【0069】模写処理時には、総鉄カセット8、手差し

追加されるものれ、模写画像を形成するための用級を収

ら遠訳的に用紙が箔紙される。 なお、これらの路紙カヤ

29、信奉設定のためのボタン群30、用徴設定のため

部指摘として被外装木件1に夜出されるようになってい を模出するセンサが設けられており、それらの状態が内 それぞれ用摘のサイズを楽田するセンキや、用流の名前 ット8、5a、5b、5cおよび手巻しトレイ9には

ル機能等が付加される場合がある。また、表裏反転機構 用版を一旦ストックしたり、振写近4の用版の表派を反 を有する装置である。ソータ6には、さらに、ステープ 7は、両面ロアーや合成ロアーを行う際に、後が近4の トワイ 6 a、 6 b、 6 c、・・・に後り分けて非田義副

【0070】ソータ6は、獲写液外の用液や複数の溶液

いる。スキャナ10は、ランプレフレクタアセンプリ1 素子) 10 bを含み、原稿台4 b 上に敷壁された原稿 Oa、および、光倫政模棋子としてのCCD (団存機像 概念45に沿って移動可能なスキャナ10が設けられて 単に概略のみを認明する。原稿台46の下面部には、原 概念なデジタラ薬は戦で巨張のものためで、ココルは領 【0071】被写版本体1内の面像形成部の構成は、-

カセット5a~5cから結束された用気に低写される。 **華美トワム6a、6b、・・・のいずれかへと辞出さ** れた場合には、彼り基本体1の包括の外側に設けられた 機構7側へと搬送される。該用紙がソータ6側へ搬送さ 13により定着処理された後、ソータ6または表裏反転 このようにしてトナー像が転写された田原は、姑養後間 一億が選近中班ファフル9まれば指揮カセシャ8、指揮 だれフール光に堪んでハマヤー保が形成がた。 そのマナ **年12ヵ上には、振記半導年ワーデ接際11から出力さ** を合み、超知の第十写真街により直像形成を行う。感光 【0073】画像形成プロセス部12は、感光体12 =

が配置されている。図3に示すように、操作パネル21 第六半表示部28、額々の物数モードの設定用ボタン原 ズ表示第26、拡大縮小率表示第27、プリセット拡大 **力用のテンキー24、コアー教教表示部25、用法キ4** ルクリアボタン22、割り込み印刷ボタン23、装値入 る。すなわち、コピージョブスタートボタン21、オー や現在の状態等を表示するための表示部が設けられてい には損坏機の動作を影響するための複数のキースイッチ DS携格羅末装置70からの光ゲータを受け付ける1R (赤外線) 発受光部3 (第1受信手段、画像受信手段)

または自動原務送り装置4によって輸送された原稿をス 転するものである。

用紙のサイズを表示する部分である。

キャンしてその画像データを懸み殴る。

フーチ製造11へと出力され、フーチ光に気味された出 理、信申調整処理等の種々の処理がなされた後、半導体 【0072】読み取られた画像データは、濃度顕整処

れ、表表反転機構7個~と搬送された場合には、再度回

のボタン群31等が設けられたいる。

8

枚数表示器2.5は、テンキー2.4等によって入力された んでコピー動作を行うときに用いるものである。コピー カセットを表示するとともに、その中に収容されている ット5a~5cのうち過ぎされたいるトワイまれば指数 6は、手指し下ワイのまたは結束カセット8、結束カセ コピー技数を表示する部分である。用紙サイズ表示部2 表はアー中等に現在のロアー作業や一旦作用し、割り込 のものである。割り込み印刷ボタン23は、多数板の通 教時の初期値や指摘入力時の初期値に設定しなおすため る。オールクリアボタン22は、操作パネル2上で設定 された設定値をすべてキャンセラ(収録)して、日集田 を押し下げることによりコピー処理を開始するものであ 【0075】コピージョブスタートポタン21は、これ

り、よく使用される倍率変換パターンが選択できるよう えばソータ6の使用や、原直コピー等を行うときにそれ になったいる。特殊モードの設定用ボタン群29は、例 いる何種類かの倍率変換パターンを表示する部分にあ 表示的2.7は、複写機本体1.内にあらかじめ記憶されて 一倍手を表示する部分である。 プリリセット四大橋小器 【0076】拡大縮小中表示第27は、設定されたコヒ

959735 c または半着し下ワイ 9から搭着するかを選択するため めの田原やどの指摘力セット8、指摘力セット5 a ~ 5 る。さらに、ボタン群31は、コピー面像を形成するた ロは、振門のめのかいめ間額はちた在母級職ペターンの **ちのキードを収損するれるのボタンわめる。ボタン群3 歯状や、トリュアットの存着契値を行うためのものため**

療装された、後年職本件1内の後述する中央影響館へと を発光する。なお、受光された光データは、電気信号に るとともに、供格指末装置に対してIRによる光データ から転送された非外線 (1R) による光データを受光す 【0077】IR発受光部3は、後述する携帯掲末装置

【0078】図4に示すように、模写機本体1の全体の

ソリーメキリー)42にあらかじめ搭載されたプログラ ムが使用される。 よって行われ、その制御に際しては、ROM(リードメ 制御は、中央制御郎(マスタCPU)41(設定可能額 **題判定手段、、抽出手段、確定手段、衝像確定手段)に** 【0079】RAM (ランダムアクセスメモリ) 43

【0074】被写機木体1の前面には操作ペネル2およ 一面または製品へと興保形成処理が成される。

1 には、後年機本体1の各態存储を返算するための服装 るデータを一點的に格響する役割も詳し、中央影響器の また、受信パッファとして、携格閣末装置から転送され 毎号(戦別指揮)への対応テープルが記載されている。 RAM43には携帯端末装置から送信される後途のIE タス情報、コマンド等を記憶するエリアである。また プションの装着状態、エラーの発生状態等)や、ステー (議別信後記録手段) は、複写概本年1の内部情報(お

館(スレープCPU)、すなわち、スキャナ影響部4 4、顕像処理点4.5、顕像形成プロセス影響第46.5 作べ水の影響点47、11 R動製造48、拡張影響調48 地グルンの影響点57、11 R動製造48、拡張影響調48 お上びオプランを開発50 のは観光されている。 [0080] スキャナ誘導部44は、スキャナ10のフ

耐像処理部45にて処理された断像データは、函像メモ は、スキャナ10から送られた面像データ、または画像 像データを格勢、保存する部分である。画像処理部45 た回復ゲータ、または西接処理部45にて処理された原 2四の各動作用を制御する。この中には、側記した手紙 賈僳形成プロセス制御郎46は、賈僳形成プロセス郎1 46の半業存フールのロントローラ52へと悩むだる。 リ51に格納されるか、または困餓形成プロセス報源的 一面積を形成するためのデータに加工する部分である。 スユージング、2値化等の処理を施すことにより、コセ メモリ51から取り出した原保データに対して、回復 れる。西保メモリ51は、スキャナ10に下説み取られ を通じて画像メモリ51または画像処理部45へと送ら られた西像データは指気信号に要換された後、画像パス を総分であり、スキャナ10のCCD10bにて銀砂県 キャン創作やCCD10bのオン・オン製作料を影響す

携帯爆末装置70の全体の脳御を行う解御第 (CPU)

う場合に使用されるボタン様77が増えられている。 【0085】図6にボヤように、端末装配木体71は

(10.81) 単行・大学の経費成では、銀行・大学の上 の表入力は、大学の大学の経費成では、銀行・大学のよりが 成界・人と記する。 ・ 10.00 により、大学の経費がありません。 ・ 10.00 により、大学の経費がありません。 ・ 10.00 により、大学の経費がありません。 ・ 10.00 によりが一クに関係していったがありません。 ・ 10.00 によりが一クに関係していったがありません。 ・ 10.00 によりが一クに関係していったが、 ・ 10.00 によりが一クに関係している。 ・ 10.00 によりが一クに関係している。 ・ 10.00 によりが一クに関係している。 ・ 10.00 によりが一クに関係している。 ・ 10.00 によりが一クに関係している。

一ク受信を行う。

接続されたときにそれらの影響等すなわらADF(自動 力の探知機・影響第53、メーラ影響第54、未被反応。 最終影響第55がロネクを含して接続される部分であ り、接オプジョン指導版50を介してをオプジョン接回 の動作が複雑される。

【0083】(2) 終券掲末装置の構成 次に、携帯権末装置の構成を説明する。図5に示すよう

に、本実施園のデジタイ製写搬に用いられる数条端来被 関7のは下機型であり、数米部課本株71を増えてい る。本数等編本機関7のは、直線形成を到算するための 起車が編本機関7のは、直線形成を到算するための 起車が最後機関係本(1に指述する)におじてきる。 [0084] 施末装置条件711、国際可能な数723 の

上の提出が下されたのカップルでは、1 (協議場所下されたのカップルでは、1 (協議場所下されたのカップルでは、3 (金)のカップルでは、3 (金)のカップルでは、

保ワーチのロントローラ52も含まれたいる。

(0087) 上述の作業十・(0) 1・(04日)・(10年)・(1

17 機本件1の実施等は、表示第101に表示される。 「0088】基本設定キー102.貸車設定キー

(1008) 最初を記さー100。 は特別を一100。 ・ 特殊で 一 1008 に 人 北京デアン・ 100 に ・ 大・ 1008 に 人 大・ 1008 に ・ 大・ 1008 に 人 大・ 1008 に ト・ 1008 に ・ 大・ 1008 に 人 大・ 1008 に ト・ 1008 に ・ 大・ 1008 に 人 大・ 1008 に ト・ 1008 に ・ 大・ 1008 に 人 ト・ 1008 に ト・ 1008 に ・ 大・ 1008 に 人 1008 に 人 1008 に ・ 1008 に 1008 に 人 1008 に ・ 1008 に 1008 に 1008 に ・ 1008 に 1008 に 1008 に ・ 1

段階が切り終わり、その段階が表示される は、キー薬作物にトニュアル/自動技術が抑り勢わるよ になっている。また、療医設定モード選択キー111 第1階略に戻るための戻りキー108の他に、コピー展 さらに、素皮投資キー112は、押し下げによって濃さ うになっており、その状態が原本一部分に表示される。 る。そして、操作されたキー部分の表示包が表わるよう ちのた、各キー部分は選択状態の表示エリアも素ねてい 一のうち一つを操作することで希望する状態を選択する 党ャー1095よびトレイ編党キー110は、装費のキ 択キー111、震災設定キー112を表示する。 画質道 アル設定/自動設定を選択するための撤疫設定ホード選 択するためのトレイ選択キー110、雨嚢衰退のテニコ 9、指紙ガセット8、5 a、5 b、5 cのいずれかを選 質を選択するための閲覧選択キー109、手班しトフィ ときは、第2階層用の表示として、中止キー106や -102のオー薬作により基本モード政治状態となった

100001 また、図りにデオ・ス・パースンをは キー105回程によりエンジ・ス・キー 医療技術的に ったときは、図り屋部川のボデヒ・ス・中央・ス・トー ・ 国 屋部に成めたのの以り キー105回性・105

【0091】で、、 報学業界に、 原型体操制で、 関で整備者をラーカは、関10年末よりに、ます 気機に、データの機能を表す表面ニータ1145カ、皮 に、 超点点と での機能を表すを国この10毎9の 20 ある。 10毎日は、 報告の世帯な機能がある場合に、 長期毒素料剤を区別するための、 各期効果は関20 超利の規制機である。そして、 未実施可は、 財法

> 作数値の表更を評用する範囲を表えるようにしておき、 上記1D番号によってそのレベルを創造するようにする

6

ことが異なったる。
「0093] 1 四野・9 2の状にはデータ末来93かと
り、そのだには、光部からデータ末体の現象までのバイナリデータの報告は、手指対データもから、総計データもは、 雅写像末来1 と機構指末機関で0 との間で 近受債後ものデータが非常に返貨権できたかとうをサーエックもために用りませたる。そ。

然端や安々然端コード 9 5 がある。

(0093) この原落海米護河のの原用手腕を囲げて、 化してイベントで、独立が大人を社ると、中国データを設置 にしてイベントで、地域が大きれると、中国データを設定 には大学ないと、中国教学側でなる。ウライベントは、 がサイギャント31か後の中、ロッドング・サイントが、 カー・ディックライベル・フェールが、 カー・ディックライベル・フェールが、 カー・ディックライベル・フェールが、 カー・ディックライベル・フェールが、 カー・ディールが、 カー・ディーのが、 カー・ディーのが、

行するようになっている。 【0094】(3)誘導単衡 次に、以上のように構成される模型療法等1およ

次に、以上のように構造される数字機を終しませび野野 第三線面でつてはかって、最終等な機能でしては、野猪場 本学はの整計を創造する場合の心理手機を関する。 100951屋11に示すように、操作者が、発酵場 被関了のを発作して場所が報を表でさると、財産機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術機能を 度でのから伝送される影響が表で、「そと、技術とない。」

関すのの10日の1、次に、正空間時間を対す情帯が成場 関すのの10日の手を持て、10日間を付するだってのの1、日 内側部原名(によって関へられる(n 10の)、日 前端がある場合は、中途を開発なるによるのとが出始され し、そして、単等が展開とにに対える。が自然を開発しま 回りて投資に関係が開催してに対える。が自然を開発しま 回りて投資に関係が開催してに対える。が自然を開発しま 回りて投資に関係が開催していてがある。 申していたがあるがある。中心が関係を引 可りて投資に関係が開催していたがある。 中心があるがある。中心が関係の1によっていたがあるがある。 中心があるがある。中心が関係の1によっていたがあるがある。中心が関係の1によっていたがあるがある。中心が関係の1によっていたがあるがある。中心が関係の1によっていたがあるがある。中心が関係の1によっていません。

[0096] なお、ここれ、サードスワベルとは、最終 江海や最大海、19の名用の他市のイベングの設定的のよ 方に、接り編水和10参照・メンテナンス時に必要なお がに、接り編水和10参照・メンテナンス時に必要なな 注を行えるレベルを指す。

る場合は、中央制御郎41が、転送されてきた制御領権

をつの条件設定を受け入れる(n 104)。 そうでない 場合は、高速されてきた脚脚指揮のうち、サービスレベ ルの外の部分だけの発作数値を受け入れる(n 10 5)。また、10倍額がない場合も、サービスレベルで ない場合と回牒である(n 105)。携帯発沫装置 70

からの1R及信を依知しないときは、指写表示家1の著作スネテ2でコピーの条件設定を受け入れる(n 1 0 6)。

【0098】このように、本実施例においては、複写数

かのフスラに分け、フスラに持つた、施労義大宗1の祭

本体1の操作パネル2と比べて大型の携帯端末装置7 G

ので、設定作業が募集になる。 間、上記模写機本体1を動作させずに占有することがな いので、時間と手間がかからない。これにより、長時 様な動作の全設定を終えるのに複雑な操作行動が必要な 部分の面積を利用して、操作者にとって分かりやすいよ 十分広くすることができる。このため、その大きな操作 へ、作業効率が向上する。また、年間が多くかからない うな操作手腕を採用することができる。したがって、 が担信制御貨権を設定するための操作する部分の直接を つ回路な操作パネルを適隔確存するのと異なり、操作者 を用いて後早職本体1を制御回信であるため、後早機本

複写機本体1の重要な設定が要更される不具合を減少さ ための携帯端末装置70を用いることによって不用意に とがたさる。これにより、一般の使用者が一般の使用の 体1の設定内容を変更できる範囲が異なるようにするこ の一般の実用のれるの政治維米説明70とか、張少森本 ・メンテナンス等用の鉄条端末装置70と、画像形成等 とを被写機本体1に記憶しておくことができる。これに

中央影響第41によって当原される(n202)。サー ているものと比較され、例えばサービスレベルか否かか 教術端末装置 7 0の 1 D旅報が、R AM 4 3に記憶され 転送される無導情報を受信する (n 2 0 1)。次に、3 る。そして、1R発受光部3が、携帯端末装置70から 設定すると、携帯指示疑問70が上記参差対数を指送す 数70の1D情報が必ず含まれている場合は、以下のよ 爆末接回70から指送される制御信仰に、接携祭踏末器 うに、操作者が携帯端末装置70を操作して前御情報を うに処理することもできる。すなわち、図12に示すよ 【0100】また、上記の構成においれ、ナムれの装件

は、以下のように処理することもできる。すなわち、区 複数の携帯端末装置分だけ記憶することができる場合 から、RAM43が1D情像と設定回標機囲との対応を 御前報に荻鏡帯端末接四70の1日前報が必ず含まれ、 になり、設定動作をより円滑に行えるようになる。 成により、中央諸御郎41によるID信報の抽出が發実 ら指送される最適前後の中に I D信報が合まれている格 写職本等1の操作スキッ2カロアーの条件設定を扱け入 帯編末級数70からの1R及信を検知しないときは、複 【0102】また、携帯端末装置70から転送される器 【0101】このように、十八八の寒弁翁大蛟四70か

て製御情報を設定すると、携帯指末接職 7 0 が上記無額 13に示すように、操作者が携帯端末装置70を操作し

g

されてきた態質信仰のうち、サードスレベル・保守指揮 において保守管理レベルを設定可能でない場合は、伝送 む箱頭の条件を受け入れる (n 4 0 5)。 上記 n 4 0 2

行パネル 2 でコピーの条件設定を受け入れる(n 5 o

場合は、サーアスフスラや原され、保全物理アスラや台 **「我で何見続わせるボヤーバスフスラス提供圧縮かなな?** の条件設定を受け入れる(n 4 0 4)。保守管理レベル を設定可能である場合は、転送されてきた制御情報全て

原される (n303)。サービスフベラである総合は、 れる (n302)。そして、記憶済みである場合は、例 情報を転送する。そして、IR発受光郎3が、携帯端末 板送されてきた制御情報全ての条件設定を受け入れる えばサービスレベルか否かが中央磐御第41によって判 4 3に記憶(登録) されている複数の1 D情報と比較さ 1)。次に、競技格端末装置70の1D情報が、RAM 装置70から転送される部郷情報を受賞する(n 3 0

置の数が増えても、増えた分の1D指揮と設定可能適回 め、複数の携帯線米装配分だけ記憶することができる。 に記憶されていない場合は、複写機本体1の操作パネル R受信を検知しないときや、上記ID情報がRAM43 したがって、ひとしの複写機本体1に対して携格端末様 3が、ID指依と設定回網范囲との対応や、あらかに 【0103】このように、複写機本体1個で、RAM4 2 たコピーの条件設備を受け入れる(n 3 0 6)。 を受け入れる(n 3 0 5)。 続帯編末装置 7 0 からの I (n 3 0 4)。そうでない場合は、転送されてきた財御 サードスァベラ以外の部分だけの条件設施

【0099】また、上記のように、微早豪水年1の奈因

導出製工販売番組末級四70の1日拍機が必ず出また。 【0104】また、携格爆末装置70から伝送される制

御するのに採用する制御指標を選択して構定することが が増えても、実際にその俳優に従って複写機本体1を握 まり、ひとつの数学数本体1に対して携帯端末疑問の数

設定可能とすべきような項目とからなる設定範囲であ アスフスラや信まれ、成えば名のいは一角の人間だけが を以下に示す。なお、ここと保存階級フベラとは、サー 7、およびそれら以外とに分かれている場合の処理手順 **なし、資活馬衛指囲だ、キーパメフスラ、廃作物艦フス**

が中央制御部41によって判断される(n402)。 41によって判断される (n 4 0 3)。 サービスフベル さらに、サードスフステを設定国館が否がが中央認識部 と比較され、例えば、保守階級フスラを設定回籍が必が 0のID情報が、RAM43に記憶されているID情報 前後を受益する(n 4 0 1)。次に、装填格端米装置 7 R発受光部3が、携帯端末装置70から転送される脚御 特備未装置70が上記制御情報を転送する。そして、1 製売端末装置70を操作して制御協権を設定すると、携 【0106】保全指拠フ入うや提供圧縮かめる場合は 【0105】すなわち、図14に示すように、操作者が

外の部分だけの条件設定を受け入れる(n204)。装 **耳、表語がちたかれ気度症後の心も、キーアメアスラ**辺 の条件設定を受け入れる(n 203)。そうたない場合 アスァベラかめる場合は、危退されたされ影響信集全ち

> 6)。 携帯端末装置70からの1R交債を検知しないと フベラ以外の機関が1Fの条件設備を受け入れる(n.4.0

保守管理する機能を含まないものとの、少なくとも2種 を受け入れる (n407)。 きは、薬り毒木祭1の薬書スポラ2カロに一の条件設治 1を保守管理する機能を含んだものと、複写機本体1を 【0107】このように、設定可能範囲が、漢字機本体

より確実に判断できるようになる。 機本体1の保守管理をできるものかを、複写機本体1が 類ある構成により、携帯端末装置70に応じて設定可能 **説明を異ならせることによって携禁踏末装置70が損写**

理等の設定が可能になる。 1の保守管理事項が変更される不具合が減少し、部門管 させることができる。これにより、不用窓に張写職本体 を保守管理する機能を特たない携帯端末装置70を用い 0を用いさせる一方、一般の使用者には、複写機本体1 模写機本体1を保守管理する機能を持つ携帯指末接置7 【0108】したがって、複写機本件1の管理者には

よりもさらに多く分けることにより、よりきめ締かな複 【0109】そして、設定可能範囲を上記のように2つ

や、後年職未休1の修理・メンテナンス時にのみ必要な 写機本体1の管理が可能になる。 【0110】また、携帯端末装置70で設定できる項目

設定できるものとできないものとの2種類に分けている る通常項目とに分け、設定可能適關を、土坑脚製項目を テナンス時に限らず、通信の使用時でも必要なものでき に、上記題张項目を合ます、被算機木体1の雰囲・メン ものである調整項目と、例えば複写枚数の設定等のよう

情報を受信する(n501)。次に、接続格局末接回7 携格端末装置70を操作して影響情報を設定すると、摂 否かが中央劉錦錦41によって判断される(n 5 0 と比較され、何えば、保守管理レベルに相当するものか 0の1D情報が、RAM43に記憶されている1D情報 R発受光部3が、携帯端末後数70から転送される態質 祭婚末帳題70が上記制御信報を指送する。そして、 場合の処理手順を以下に示す。 【0111】すなわち、図15に示すように、操作者が

な設定を含めて、転送されてきた制御情報全ての条件器 のように、接写機本体1の修理・メンテナンス時に必要 例えば被写職本年1内の各語の製作タイミングの政府等 条件設定を受け入れる(n 5 0 4)。 绣茶端末装置 7 G も、サーアスァスラ・森中斯県アスラび冬の福屋がけの 可能とする。すなわち、伝送されてきた影響情報のう **学院親フスラかない場合は、土地の通常項目のみを設定** 定を受け入れる (n 5 0 3) 。上記n 5 0 2において作 顕繁項目を含めて全項目を設定可能とする。すなわち. 【0112】保守管理レベルに担当する場合は、上記の

【0113】このように、疫生可能範囲を、上院顕素の

(12)

特關平8-251373

目を設定できるものとできないものとの2種類に分ける される不具合が減少する。 ことにより、不用感に微写機本体1の脂素な設定が変更

ャナ10(図2参照)を用いた顕像情報の処理手順を3 【0114】また、複写概本年1に設けられた前記スキ

が、RAM43に記憶されているものと比較され、携備 受信する (n 7 0 1)。次に、上記データが1 D情報を 端末装置70から転送されるデータを1R発受光部3が 右するかどうかが中央影響部41によって聞べられる Oが上記無道指載(データ)を指送する。すると、携権 70を操作して制御情報を設定すると、携帯端末装置7 なわち、図17に示すように、複合者が、感染指末後間 送される場合の該面像情報の処理手順を以下に示す。す 情報ゲータは間報情報として確定される(n 6 0 3)。 情報データを生成する(n 6 0 2)。読み取られた画像 の原義からの反射光像をCCD10bに取り込んで開催 bに置かれた原稿を光館により露光し (n 6 0 1) 、 A 【0115】すなわち、図16に示すように、原稿台。 (n702)。ID情報がある場合は、そのID情報 【0116】また、鉄祭路米装買70から面積資格が表

端末装置ごとに長なる、各携術端末装置70で設定可能 生寒される (n 7 0 3)。 スフスラご告当するか否かが、中央影響部41ごはらた な機関を水中設定三鍋機関、コニたは例えば削留サード 【0117】サービスレベルに相当する場合は、中央的

の条件設定を受け入れる (n706)。 当しないときは、薬は痰水体1の薬(すべネチ2たロバー る (n 7 0 5) 。 鉄岳端末接限 7 0 からの 1 R 受信を修 ご場合も、サービスレベルに指述しない場合と回惑ため け入れる (n704)。そうでない場合は、転送されて 作設定を受け入れる(n 7 0 5)。また、1 D情報がな 申れアークの心も、キーカスフスラ以外の信囲がこの後 御郎41が、転送されてきたデータ全ての条件設定を及 【0118】そしてさらに、操作者が供格指来装置で

の画像情報データが、実際に被写やファクシミリ送信な 年1に対して転送し、その転送されてきた國像情報デー どのデータ処理を行う画像信服として確定される(n.1 タを1R発受光郎3が受信した場合 (n 7 0 7) は、そ **装信様データを作成し、その直集信様データを抜り積々** で何えばタッチパネル73等を操作することによって回

からの1尺受信を検知しないときは、模写機本体1の差 に上記データ高級を行うことができる。 これにより、より多種多様の画像を用いて容易から迅速 四70を嵌った存成した困魔を用いた、抜りやレトクラ ミリ協信などのデータ処理を迅廉に行うことができる。 で、操作部分の回復が十分広い回復を持った携帯端末装

【0119】したがって、複写概本体1から離れた場所

外部操作端末機器の一例として、携帯端末接直としての **保形長装属としたの外ジタラ接り職や死に示す。また、** の符号を付配してその説明を省略する。本実施例におい 図庫に尽りた器算と回しの機能を作する認及には、回し 図7および図18ないし図27に基心いて説明すれば3 では、データ処理装匠の一例として、実施例1回線、面 下の通りである。なお、説明の便宜上、前記の実施例の

おいて復写原稿を截匠して複写物を生成する複写機本件 本浜通回のデジタル接写機(以下、複写機と作する)に (西保形成設置木体) の数略の株成は実施例1とほぼ同 【0121】(1) デンタラ振り要求客の表示

作判定手段、影響手段)によって行われ、その影響に原 全体の制御は、中央制御部 (マスタCPU) 241 (動 3 (第1受信手段、第2転送手段) が配置されている。 らの光データを受け付ける1R (赤外線) 発受光解20 前周には操作パネル202および特際指末機関270か 【0123】図19に示すように、複写機本体201の 【0122】図18に示すように、複写機本体201の

携帯編末装置から転送されるゲータを一時的に格納する エラーの発生状態等)や、ステータス弱性、コトンドル は、複片機本年1の内部信義(オアションの技術状態) を記憶するエリアである。また、受信バッファとして、 らかいめ格能されたプログラムが使用される。 しては、ROM (リードオンリーメモリー) 242にお 【0124】RAM (ランダムアクセスメモリ) 243

次に、携番端末装置の構成を説明する。図20に示すよ ためった、爆末装置本年271を備えている。 装置270の構成は実施例1とほぼ同様であり、手機型 らに、本実権産のデジタル提出機に用いられる契辞指示 【0125】 (2) 教辞端末装置の構成

は、携帯端末装置 2 7 0の全体の制御を行う制御部 (C による通信が用いられている。 **罰しては、掲末装置本体271に設けられた完受光節2** 76 (第1転送手段、第2受信手段) を介した光データ 【0127】図6に示すように、端末装置本体271 【0126】上記携帯帰末装置270を用いての制御に

備えており、さらに、そのプログラムを実行するうえで を制御するためのプログラムを格納したROM282を るためのRAM283 (不可情報記憶手段) を編えてい や鉄塔端末装置削御用データ(動作不可情報)を記憶す 写機本体201から送信された複写機超導用プログラよ れた文字や顕像等のデータ、さらには処理装置である後 必要な各種データや携帯端末装置270において入力さ PU) 281 (転送制御手段) と、携罄端末装置 270

【0128】(3) 湖湖手順

携帯増末装置270において、携帯爆末装置270によ 次に、以上のように構成される複写機本作201および り接写機本体201の動作を制御する場合の処理手順を

【0120】 [実施例2] 本発明の他の実施例について

キー75やボタン群77、またはタッチパネル73上の 作の概略手順を図22を用いて説明する。すなわち、携 他のキーの押し下げ等である。 002)。 このイベントは、変えば旋分費コントローチ 毎掲末接回270の組制が投入されると、内部データを 【0129】まず、携帯端末装置270個の基本的な際

写要本代201~前級する (n1005)。 告掲末級四270上で設定した制御情報等のデータを接 ールキー75が押し下げられた場合は、携帯端米装置2 し下げられた場合は、以下に述べるように、操作者が認 入る(n 1004)。送信キー107(図7参照)が押 70により被写稿本体201の条件を設定するモードに しての処理を実行する (n 1 0 0 3) 。 複写機コントロ キーが押し下げられた場合には、適常の携帯端末装置と 【0130】ボタン群77やタッチパネル73上の他の

何けてコマンドを退信する (n 1 1 0 3)。 102)、IR発受光路276から光データを発するこ 4)、一定時間内に複写機木体201から何らかのデー 【0132】その後、受信モードに変更し(n110 とによって、複写機本年201の1R発受光解203~ 1) 、携帯端末装置270を送信モードに変更し(n1 定されたデータに対するコマンドを作成し(n 1 1 0 【0131】すなわち、図23に示すように、まず、設

があり (n 1 1 0 7) 、その応答結果が正常受信を表す 状態に戻る (図22参照) (n1001、n100 のと判断し、その旨を示すメッセージを表示部101 合は、通信相手である後写機本体201が存在しないも ドを送信する (n 1 1 0 2)。 へ、受信エアーを表すコードためれば、再度振導コトン る。また、上記な答結果が、正名受信を表すコードでな コードであれば(n 1 1 0 8)、 イベンテ谷郷状態で尿 2)。一方、一定時間内に接写機木体201からの応答 (図7参照) が表示して (n 1 1 0 6) 、 イベント特額 5)。 一倍等回内に接降機を存201から6%がない機 タが送信されてくるかどうかを判別する(n 1 1 0

っては動作できないことを表すものである。RAM28 が、鉄岳端末装置270から送られてきた開御情報に沿 きた場合 (n 1 1 0 9) には、携帯端末装置 2 7 0 内の 信報として、この態等指案が復写機本案201からIR ードであることが特別した (n 1 1 0 8) 後、動作不同 0)。 ニニで、動作不可指標とは、複写機本体201 R AM2 8 3 にその影響指揮が記憶される(n 1 1 1 発受光部203を用いて携帯端末装置270~送られて 【0133】ただし、上記応答結果が正常受信を表すコ

タを選択できないようになる。

化、およびウォーミングアップを行う (n1201)。 入されるとまず内部データの初別化、内部機構の初期

02からの入力操作である場合は、通常の複写機動作を 個) のいずれかである。 【0135】上記イベントが操作者による操作パネル2

けるエラー発生である場合は、エラー解除モードフラグ **格端米装置270からのデータ受信(IR受信)である** ラグをオンにし (n 1 2 0 9)、イベント入力核知ラー が解除されたことが検知されると、エラー解除モードフ ば、抵請まりした用紙が除去されることによる。エラー 例えば上記エラーが被写表本年201の素詰まりためた 解除されたかどうかを検知する(n 1 2 0 8)。 これは をオンにする (n1207)。そして、実際にエラーが 行う(n 1 2 0 6)。 イベントが複写薬木体 2 0 1 にお 聯合は、以下に述べるように、IR 委信応答処理を行う チンへ戻る(n 1 2 0 4、n 1 2 0 5)。 イベンテが樹

[0136] すなわち、図25に示すように、まず、受

(n 1 2 1 0).

四270上でソータの磁類を選ぶ際に、ステープルソー 帯端末装置270の動作が制御される。例えば、複写標 プルソータを選択して転送すると、以後は、携帯艦末装 た、武伟隆米装置270上でのオプション技法でステー 本体201億がステープルソータを接着していない場合 6上記の総御信報を伝送することができないように、例 後は、今上記制御情報を振送した携帯端末装四270か 0)後、携盤端末装置270の制御部281により、3

また、エラー解除モードフラグ等の各フラグもオフする る。図24に示すように、複写機本体201は電影が接 (n 1 2 0 2)。 なお、エラー解除モードフラグは、核 【0134】一方、接写機本体201個の動作を設明す

ル202からの入力操作、後写機木体1におけるエラー のイベント入力があるまで容骸する(n 1 2 0 4、n 1 発生、鉄塔篠末鉄数270からのデータ受信(IR受 205)。 いいたイベントとは、複音的にはる薬疹でき 第203を東光モードに設定し(n1203)、何らか る (オフする)。 さらに、初期動作として、1 R発受光 **キフラグたわり、エラー発生等に"H"(へん)となり** 写機本体201のエラー状態が解除されたかどうかを表 (オンし)、エラーが解除されると"L" (ロー) にな

報は、後写版本体201のエラー状態(ジャム発生 03、n1304)。なお、複写機本体201の内部位 部情報を携帯端末装置270に対して送信する(n13 東するコードであった場合には、複写機本体201の内 受信データが、複写版本体201の内部情報の送信を要 信された内容を分類する(n 1 3 0 1、n 1 3 0 2)。

【0137】受信データが、複写職本体201に対して セット内の用菜の有無状服除ためる。 等)、獲写概本体201のオブション技術技能、指用J

後写条件等を設定するデータのように制御情報であった

01)。これを、送られてきたデータが有する、バイナ る上記受信パッファ内のデータの最を合計する(n 1 4 装置270個から実際に送られてヘたデータを行めてい 受信エラー判定処理を行う (n 1 3 0 7)。 基コードを受信すると(n1306)、以下に係べるほ 場合は、受信したデータをRAM243内の受信バッフ ァへ格衝する(n 1 3 0 5)。そして、上記データの終 【0138】すなわち、図26に示すように、携帯端3

2) 、一致すれば (n 1 4 0 3) 、王常に受信したと称 ラーフラグRが0) 場合は、送信モードに変更し (n : 類を完了 (n 1 3 0 7) した結果、正常でない (受信エ 新し、受信エラーフラグRを1にする(n1404)。 【0139】図25に示すように、送受信エラー判定を 5 に示した IR 製価対応処理に戻る。 ラーフラグRを0にする(n 1 4 0 5)。そして、図2 リデータの総計を表す総計データと比較し(n 1 4 0 一致しなければ、正常受信に失敗したと判断し、受信=

ータとして送信する (n 1 3 1 0) 。 圧発 (受債エラー マンド処職 (n 1 3 1 1) を行う。 **北部建設機を合む配路ロトンドを解除するための整御ロ** プラグRが1) な場合は、以下に述べるように、受信! の1R発受光節276へ向けて遠信エラーコードを光5 309)、1R発受光部203から携帯端末装置270

【0140】すなわち、図27に示すように、まず、勇

において動作可能でないと判断された場合、例えば、オ だは、そのロマンドに残られ、落気カセットの空の破火 受信した全てのロマンドに対応する改善が光了すれば 報をRAM243に記憶する(n1454)。そして トンドや前体で、いの延縮ロトンドに接んでとは影響化 わらず、ソータが接着されていない場合は、この影響コ **プションの設定でソータの依用を指示してきたにもかわ** 等の処理を実行する (n 1 4 5 3)。 一方、n 1 4 5 2 ソドが、清潔がもットの編吹料や指示するロトンドため る (n 1 4 5 2) 。動作可能な場合は、例えば影御コマ 201が影作可能かどうかを中央影響第241が進歴す **何つれ薬剤ロトンドの光思かの表にロトンドや雰花つ** 可能があることを示す動作不可信服として、この影響作 (n 1 4 5 1)、その影響コマンドに沿って被写版本外 (n 1 4 5 5)、図2 5に示した | R受信対応処理に見

タとして送信する (n 1 3 1 3)。 帯端末装置270の1R発受光部276~向けて光デー 完了 (n 1 3 1 1) すると、送信モードに乗更し (n : 312)、正常受信コードを1R発受光部203から摂 【0141】図25に示すように、創御コマンド処理!

した後はRAM243からクリア (消去) しておく (n 70~送信する(n1315)。動作不可情報は、送信 場合(n 1 3 1 4)は、動作不可情報を携帯端末装置 2 示したn1454において動作不用情報を記録している 【0142】そして、王常受信コード送信後、図27に

が制御信仰を設定するための操作する部分の函数を以く し回続な場合パネルを返路要作するのと異なり、複作者 **体化された操作パネルや、西保形成装団本体から取り外** 【0143】上記のような構成により、被写機本体に-

らない。これにより、長時間、上記後写機本体201を る。また、手間が多くかからないので、設定作業が容易 動作させずに占有することがなく、作業効率が向上す のに複雑な操作行動が必要ないので、時間と手間がかか 【0144】したがって、複雑な動作の全設定を終える

も、模写機本体201が原動作する不具合を解消するこ を板更した場合に、道院操作によった機能を設定した 【0145】また、複写機本体201で使用できる機能

本体201において、「R発受光器203がその影響情 よって動作不可能であると判定された場合には、後写機 第276を構えている。このため、中央別額部241に 体201から転送された影響情報を受信するIR 発受光 3を備えるとともに、技術端末接近270が、被写機本 として携帯猶末装置270~転送する1R発受光部20 241が判定した場合にはその影響情報を懸作不可信義 ては被写機本体201が動作不可能であると中央領導部 が、装件編末装置270から転送された影響音像に沿っ 【0146】さらに、上記のように、複写機本体201

47.50

の周囲には、仮写器 4 1 0、クリーナ 4 1 1 が配置され 改学中国来409が設けられたいる。 改学研算409

83が上記劉籌有機を記載し、超遊馬281が、上記製 た場合には、携帯端末接近270側において、RAM2 中央減御館241によって動作不同能であると判定され 据えている。このため、後写機本件201個において、 ように1R発受光部276を制御する制御部281とを 受信した場合には、その影響指揮を記憶するRAM28 が、上記1R発受光郎203から転送された制御情報を 装配270億にいるにもかかわらず、上記の影響情報に 年201から指送された重導信義を受信する。したがら **装駅270において、IR発受光部276が、複写機本** 根を鎮非猶末接觸270~微遊する。そして、提非指束 調内容を転送する不具合を未然に防ぐことができるの 炎光部278を制御する。これにより、動作不可能な制 適情報を接写機本体201~信送できないように1R発 3 と、上記劉御情報を指写職本年201~臨送できない 【0147】また、上記のように、携帯編末装置270 うにすることができる。これにより、風像形成作業の描 よったは後年要本件201が影示しまないことを知るよ た、操作者が、権即職未存201から通牒した契件指表

の一刻として、統督端米被置としての稿子手機を建己を クシミリ機能をも有している。また、外部操作端末機器 **ル福写版を担て示す。また、このデジタル後写版はファ** 例として、実施例1回様、興像形成装置としてのデジタ 【0149】本実施例においては、データ処理装置の一 符号を付記してその適用を省略する。 **西に示した部体と同一の機能を有する部体には、同一の**

いる。シアン県保格406とクリーナ407との国には 本実場例のデジタル損写機 (以下、複写機と称する) に リーナ407、除省ランプ408がこの際に配置されて 04、トポンタ県線품405、シアン県像精406、ク 応路402、ブラック英梁塔403、イエロー英俊塔4 れている。そして、感光体ドラム401の周囲には、 の中央部には、感光体ドラム401が回転自在に配置さ 【0151】図28に示すように、複写要本体400円 他を有する点以外は実施例1とほぼ阿様である。 おいて福写原紙を栽図して複写物を生成する複写機木体 【0150】(1) デジタル複写機本体の構用 (画像形成装置木体) の概略の構成は、ファクシミリ様

としてのCCD (服体類後替) センサ413gを備えて 画像データとして読み取る。読み取った画像データは [0153]原指端み吸りユニット413は、原稿台4 13d・413e、レンズ413fおよび光値変換果子 13は、光原413a・413b、ミラー413c・4 4とによって構成されている。原稿読み取りユニット4 掲号長のユニット413とワーチドライズユニット41 翌412が配置されている。光学系装置412は、原稿 【0152】獲写機本体400円の上部には、光学系装

ザ光が開射される前に感光体ドラム401の表面は整備 体400内の左側下方には定着装置416が設けられて 所定のサイズの用紙が収納されている。また、模写機本 ット405が装着されている。用紙カセット405には 【0154】複写機本体400の右側面には、用紙カセ ~406のいずれかからのトナー病指を受けて顕微化さ て静電雑像が形成される。この静電譜像が現像精403 球402円より締約されたおり、フーを光の影響でよる 13 cを介した弱光客ドラム401に配光される。レー する。このレーチ光は、ミラー413c・413d・4 関係アータに堪んコハフーをや疑惑し、フーを光を五七 414に送られる。レーザドライバユニット414は 画像処理部において処理され、レーザドライスユニット 14上にセットされた原稿に光を照射し、その反射光を 感光体ドラム401の表面にトナー像が形成され このトナー保は転び中間休409に転写される。

の通りである。なお、説明の便宜上、前記の実施例の図

8

いる。用板カセット405の用板は板写器410と板は

ようになっている。この携帯端末装置570より、電話

ついて図28ないし図43に張るいた説照すれば、以下 【0148】 (実施例3) 本発明のきらに他の実施例に で、排落端末製廠270での操作性がより向上する。

> 00の前面には1R (赤外線) 発受光節417 (第1受 上のトナー復が用紙に溶機的着される。 ナーが微写器410によって用紙上に微写される。トナ 中間体409との間に進かれ、微学中間体409上の1 【0155】また、図29に示すように、複写機本体4 像が転写された用紙は定着装置416を通過し、

無能

「複数枚のコピーを行うセルチョピー等のコピー枚数の 入力に用いられるとともに、ファクシミリ原稿を遂信す 22の近傍に配置されている。テンキー422は、一度 する際に操作される送信スイッチ421が、テンキー4 の、原稿台414上の商像を公衆電話回線を介して送信 に複写する衝突する際に複存されるコピースイッチ42 原稿の胸像を用紙カセット415に収納されている用値 の操作パネル419には、原稿台414上に表図された 00の上面には操作パネル419が漏えられている。こ を開閉する原稿カバー417が設けられた複写機本件4 信手段、画像受信手段)が配置されている。 **る際の送信先の電話番号の入力にも用いられる。** 【0156】図30に示すように、原稿台414の上版

段、更新手段、順像確定手数)によって行われ、その例 リー)にあらかじめ格納されたプログラムが使用され 御に際しては、図示しないROM(リードオンリーメモ 全体の製御は、鼠御第500(追信制御手段、比数手 【0157】図31に示すように、複写機本体400の

光原稿メモリ507は、原稿読み取りユニット413が 送信する画像信号の敷後調を行う。符号化第505は、 際の発信に必要な情報からなる通信影響信報を、複数の 劉情報記憶部503(通信制與情報記憶手段)は、宛て 信先の名話番号を公衆総路回線に自動発序する。適信制 切り換える。オートダイアラ502は、ファクシミリ送 読み取った原稿の刺像データを一時格納する。 より復興された画像信号を画像データに復号化する。 走 一夕を称写化する。復写化館506は、モデム504に 原稿読み取りユニット413が読み取った原稿の画像デ 宛て先分だけ記憶する。モデム504は、ファクシミリ 先と臨語番号との関係等のようにファクシミリ通信で実 面像信号のファクシミリ送信およびファクシミリ受信を 【0158】回図において、送受信制毎回路501は

た層線データが、ワーチドライス509に保持される。 に対した静稿指律を形成するフーデ光を照射する。 後昇 においた彼られされた西嶺データを一群的郷する。フー 511を介して前途の統帯端末装置570と接続だきる 【0160】また、創御第500は、赤外線送受信回路 一夕を格納する。この後な原項メモリ510に格納され 原稿がみ取りユニット413が終み長った原稿の屋袋デ 原稿メモリ510は、走査原稿メモリ507と回標に ザドライベ509は、指述のように感光体ドラム401 【0159】受信原稿メモリ508は、復号化単508

(6) 番号やファクシミリ送信の端て先などを含む通信附御信 集や、一部の固備指数目依や微量機木存400に対した

次に、携萄塩末装置の構成を説明する。図32に示す』 板送することができる。 【0161】(2) 携帯端末装置の構成

部576 (第1転送手段、関像転送手段)を介した光テ 際しては、端末装置本体571に設けられた1R発受光 本体571は、後島表示するためのタッチパネル573 であって、端末装置本体571を備えている。端末装置 装置 5 7 0の構成は実施例1 とほぼ回様であり、手帳型 【0162】上記携帯端末装置670を用いての報道に (遠隔面像情報発生手段)を構えている。 ・本支給例のデジタル複写機に用いられる供格路末

るうえた必要な各種データや供着脳末接回 5 7 0 におい 582を備えており、さらに、そのプログラムを実行す 〒570を影響するためのプログラムを格納したROM は、携帯端末装置 5 7 0 の全体の影響を行う影響器 (C ータによる通信が用いられる。 て入力された文字や面積等のデータ、さらには処理装置 這隔面像情報発生手段、面像标送手段)と、携帯端末装 PU) 581 (語籍情報付加手段、日時情報付加手段、 【0163】図33に示すように、婚末装置本体571

ログラムを記録するためのRAM583を確えている。 である複写機本体400から送信された複写機制御用プ [0164] (3) 慰御手順

説明する。 次に、以上のように構成される模写機本体400および り被写機本体400の動作を影響する場合の処理手順を 姚帯編末級西570において、柴帯縞末級四570によ

モリ508に格納する。そして、交信原稿メモリ508 ○6た指揮アークに彼歩行し、監御アークを設定原律メ 人、モデム504を介した実信制選を行い、信を完認5 や検当したとまは(n 1 5 0 1)、 無害用 5 0 0 による 1.で公衆倫諸回線からのファクシミリ 国債データの受信 【0165】図34に示すように、送受信勘御回路50

内に拓推した重義を一タをレーをドライベ509に供給

して、貞徽形成処理を共行する (n 1 5 0 2)。

作されると (n 1 5 0 3) 、制御第5 0 0 の制御によ 5、更像データとして複写原稿メモリ510に格給する 原稿台414上の画像を出在することによって読み取 り、光学系装置 4 1 2 の原稿読み取りユニット 4 1 3 カ **シロバー保存を設備して彼らロバースイッチ420だ薬** 【0166】受信を検知しない場合、操作パネル419

ネル419で設定して送信スイッチ421を操作した業 信する相手の電話番号等からなる通信制御情報を操作/ を操作しない場合で、操作者が、ファクシミリ面像を送 [0167] n1503においてコピースイッチ420

し、画像形成処理を実行する (n 1 5 0 2) 。 終されている関係データをワーチドライ バ509 に収拾

(n 1 5 0 4)。 その後、模写原稿メモリ 5 1 0 内に格

(東データを符号化約505で送信データに符号化し、そ 原稿台414上の画像を出着することによって認多級 して回線が接続されると、走査原稿メモリ507内の順 アクジスリ語信すべき画家信義を展示する(n 1 5 0 り、培養原職メモリ507に格密することによった、フ 学系装置412の原稿読み取りユニット413において を解認する (n 1506)。すると、制御部500は5 合は (n 1 5 0 5)、劉第第5 0 0 は上記通信制御信義 7)。そして、オートダイヤラ502に復活番号を供款

通信財資損額を確認する (n 1 5 0 6)。そして、原料 受信回路511を揺て複写機本体400ヘデータ (追信 語回線に送信する (n 1508)。 走者することによって読み取り、走査原稿メモリ507 競学費のユニット413により影響台414上の面像を られてきたデータに従って、上記回奏、影響等500が 態學情報)が送られてきた場合には(n 1509)、逆 操作されない場合で、携帯端末装置570から赤外製设 【0168】n1505において送信スイッチ421も

に格案することによって、ファクシミリ返信すべき回信 ベネルや、機算機本体がら取り外し三部な操作バネルを 原像データを送信する(n 1508)。 信報を確定する(n 1507)。そして、ファクシミリ 【の169】このため、後早要木存に一谷化された操作

のに複雑な操作行動が必要ないので、時間と手間がかめ するための操作する部分の面拠を広くすることができ 【0170】したがって、複雑な動作の全設定を終える

温階操作するのと異なり、操作者が過信型連信機を設成

らない。これにより、長時回、振り機本将400を創作 た、井田が多くかからないのた、設定作業が発感にな させずに占有することがなく、作業効率が向上する。ま

が送られてきた場合には (n 1601) 、 制御部500 受信回路 5 1 1 を終て被算機本体 4 0 0 へ通信振道指標 説明する。すなわち、携帯端末装置570から赤外線送 報を受信した際の動作の概略手機の例を図35を用いて 画像情報を送信することができる。 作するだけで、模写機本体400から通信回線を通じて 【0172】次に、携倍超末装四570から通信衝貨情 【0171】また、このような携帯端末装置570を排

せる (n 1603) 。このようにして、通信制御情報器 きた通信記算情報を通信記録情報記念部503に記録さ と一致しない場合は、携務端末装置570から送られて 簡約503内に記憶された通信影響指板の送信先の名前 労権とを比較する(n 1 6 0 2)。 転送されてきた上流 0の通信短線指接記范用503で記憶している通信回避 により、送られてきた通信附御皆報と、複写機本体40 当在起資素費のうちの送信先の名用が、通信整導在数は

送信先の名詞や指語番号からなる指語帳データの作成規 号を容易に追加記憶させることができる。これにより、 3

により、送られてきた通信協議信報の中の送信先の名面 当等指核を受信した際の動作の概略手機の他の例を図3 院毎期503で院第している通信整御指摘の中の送信先 を米十名て先信報と、後写版本体400の通信範疇管備 が返られてきた場合には(n 1 7 0 1)、観察部 5 0 0 信息運転指すなけち機器指导と通信先の名曲とのデータ 6赤外線送受信回路511を継て複写機本件400へ通 6を用いて説明する。すなわち、携帯端末装置570か [0173]次に、同じく鉄塔端末装置570から通信

デム504および送受信制御回路501を介して公衆電

場合は、過信能等容徴的部部503内に回答された場合 の名前を示す宛て先情報とを比較する(n1702)。 影響指数のうち、送信院の名道が一致したデータに対応 【0175】n1703において電話番号が一致しない 対応する総語番号と比較する(n 1 7 0 3)。 過信後尊結集のうち、過信先の名信が一奏したデータに 臨結命のや、通信態等指案記録部503内に記載された び、放送されてきた土街場信服御祭務のうちの送信托の 【0174】この宛て先信禄が一妻した場合には、さら

発化を防止できる。 の名前や電話番号からなる電話機データの作成処理の類 信制資信報記憶部503内の適信制御前報を許き換える れてきれ低路帯のデータを困惑があることにせった、 を容易に更新させることができる。これにより、送信先 503門に記憶されている古い送信先の名画や路話番号 (n1704)。このようにして、通信制御供報の整理 する電話番号の代わりに、携帯編末装置570から送ら

送られ、受信される (n 1801)。 信制御情報に付加される。そして、この通信御御情報が 合わせからなるデータの新しさを示す節舞宿機が上記道 一夕を送る際に、その追ぶ番号と送信先の名前との組み 信制運換報すなわち循語維持と通信先の名詞とを合むデ 5赤外模送受信回路511を接て複写機本体400~通 7を用いて説明する。すなわち、携祭端末装置570か 無害症職を受信した際の場合の養婦手膏の歯の重を図る 【0176】次に、同じく供帯端末装置570から適信

ら以降の移り変わりの様子を示すものを採用することも 修正ごとに、改定版数として増加する数値(第2版、第 部門変更に伴い送信先の名前を修正したりすると、その 番号を修正したり、あるいは送信先の何えば社名表更や さを示すものであれば特に販定されない。例えば、泡詰 ・・等) のように、データが初めて設定されてか

【0177】この経緯情報としては、上記ゲータの新し

機能 5 0 3内に泊続されていない送信先の名前や海路器 3 信制領信祭の中の終緯信報とが比較される。このとき 通信問御信報記憶第503で記憶している、対応する通 た通信制御信報の中の経緯情報と、複写機本体400の 【0178】そして、制御部500により、送られてき

> これにより、結踏機データの作成処理の複雑化をより! ている古い地話番号を容易に更新させることができる のようにして、通信制道信信に懸修503内に記録され 03円の通信制御報報を書き模える (n1803)。 こ 情報を記憶させ、これによって、通信制御情報記憶部の に、携格路末被膜570から送られてきた上記通信無違 503内に記憶された状当する通信総容前後の代わり うが新しい場合 (n 1802) は、通信影響指接活物値 親路路米機器570から近られてきた道信制連貫祭の13

一夕を設定した日時を示す日時信報が複写機本体400 が扱ったたくる際に、回場に、復送の循環指数とした。 信制御情報すなわち道話等やと遺信児の名前とのデータ 6赤外線送受信回路511を経て複写機本年400へ返 その傷活番号と送信先の名前との組み合わせからなるア 製御前報を受信した際の動作の義略手順の他の例を図 2

時を入力してもよい。 **操作が開発化される。しかしながら、操作者が手動と** より自動的に適信報御信仰に付加される。これにより、 臨話番号と遠信先の名前を設定すると、熊御郎581に 【0180】上記日時情報は、携帯線末装置570上で

の通信制御情報を書き換える (n 1 9 0 3)。 このよう 先をまちがえる不具合を減少させることができる。 語像データの作成処理の損害化をより一層防止できる。 古い道信先の名前を容易に更新させることができる。し ようになる。このため、古い電話番号に遠信したり宛て 【0181】そして、影響部500により、送られてき

操作者が日付を入力する必要がないので、操作が節略化 【0183】一方、日時でなく描述のように「第2

【0179】次に、同じく携帯端末装置570から通信

8を用いて説明する。すなわち、携帯端末装置570か 三~泥られてくる(n 1 8 0 1)。

にして、通信制御貨扱記憶部503内に記憶されている 選話番号や強て先が最新のものかどうかがすぐに分かる るので、操作者等がこの日時を見れば、入力されている とをより容易に入力できるようになる。これにより、省 たがって、電話番号と電話番号に対応する相手先の名前 路帯や中の17とによって、通信無警査権別商組503内 帯端末装置570から送られてきた上記通信制御情報を 3内に記憶された談当する過信影響情報の代わりに、根 厳しい場合 (n1902)は、過貨処運貨集団銀第50 端末機器570から送られてきた通信短導信頼のほうが 信制御信報の中の日時信頼とを比較する。そして、供格 た適信強御皆様の中の経緯皆様と、複写機木体400の 【0182】上記のように、経緯情報として日時を用い 通信副御信報記憶部503で記憶している、対応する通

を組み込む必要がないので、構成が簡素化する。また て経済を記述すれば、携帯端末装置570円に時計機能 版」、「第3版」、・・・などのような通し番号によっ

613

および公衆電話回線を介して送信先へファクシミリ画像 定する (n 2002) 。そして、送受信制御回路501 送受信回路511により受信する (n 2 0 0 1)。する 送される通信報貨情報を、提写機本体400億で非外線 報を収信した際の、医療のファクシミリ返信制作の概要 を送信する(n 2 0 0 3)。 記通信影響情報に従って、後述するように困像情報を確 と、横甲級木存400回で、短線総500によって、1 わち、図39に斥すように、披格端末接顧570から称 平順の例を図39ないし図41を用いて説明する。すな 【0185】その具体例として、図40に示すように 【0184】次に、携禁端末装置570から適信無御信

02)。そして、送信先へファクシミリ画像を送信する としての電話器号および送信先の名前を、複写版本件。 に従って、後述するように関係情報を指定する(n 2 01)。すると、複字版本体400億で、上記覧活挙号 の商店部市や、被写業本件400億で受信する(n 2: うに、契格婦未設置570から信送される通信服御信仰 携祭端末装置 5 7 0から振送される通信制御俳報として 【0186】また、他の具体例として、図41に示す。 (n 2 1 0 3) .

00個で受信する (n 2 1 0 1)。すると、被写機本が 2)。そして、送信先へファクシミリ関係を送信する (n 2 1 0 3). て、後述するように顕像情報を確定する(n 2 1 0 400例で、上記職話番号および送信先の名前に従っ

【0187】次に、直接指数の指信数件の数器斗風の数

ニット413が、原稿台414上にセットされた原稿に を図42を用いて説明する。すなわち、原稿読み取りコ み取った画像を走光原稿メモリ807に格納することに 取る (n 2 3 0 2) 。その後、制御部5 0 0 により、読 e、ワンズ413「およびCCDセンチ413gで読み によって原摘を追査する (n 2 3 0 1)。 そして、原幕

で、赤外線送受信回路511により上記画像情報を受信 対して光原413 a・413 bにより光を照射すること 00によって走搬票編メモリ507に格納されることに する(n 2 4 0 1)。転送された衝像情報は、影響部 5 2570から画像情報が表送され、模写要本件400包 の例を図43を用いて説明する。すなわち、携格端末接 よって、画像情報として確定する (n 2 3 0 3)。 からの反射光を、ミラー413c・413d・413 よって、夏蒙信報と5て指述する (n 2 4 0 2)。 【0188】次に、国債信報の確定物件の機略手限の依

0.85 像を用いて容易から迅速に上記データ処理を行うことが 速に行うことができる。これにより、より多種多様の困 **ろのた、被与やファクシミリ法信などのデータ処理を**決 末装四570を使って作成した画像を用いることができ 場所で、操作部分の両額が十分伝い面額を持った携格器 【0189】したがって、複写機本体400から離れた

9

させずに占有することがなく、作業効率が向上するとい 段を掃弾する通信制御手段とを指えている構成である。 在終言掲んでれ、関係指集の過程や作うせつに、過程中 木体に転送する第1転送手段を有する外部操作端末機器 信する透信手段を有する画像形成装置木体を備えたデー 信息排音機に捕んでん、通信回数を追った重要指数を追 【0191】それゆえ、長時間前像形成装配本件を動作 手段と、第1受信手段によって受信された上記通信制御 て転送されてきた上記通信制御信報を受信する第1受信 を備え、上記画像形成装置木体が、第1転送手製によっ タ処理技順において、上記通信制御信報を国像形成技器 送信先の名前との対応を合む、適信を開御するための道 画像形成装置は、ファクシミリ通信における電話番号と 【発明の効果】以上のように、本発明の請求項1記載の

するだけた、画像形成装匠木体から通信回線を通じて回 【0193】また、このような外部操作指求機器を操作 繋が容易になるという効果を要する。 【0192】また、手間が多くかからないので、設定体

きるという効果を数する。 効果に加え、結踏機データの作成処理の損益的を防止で 報を更新する更新手段とを鍛えている構成である。 **るいとによった、通信制御指摘に荷手技术の通信制御信** べきた過信器等情報を適合部等情報的信用限に記録され されていない場合には、外部操作指求機器から転送され のうちの通信先の名言が通信制御査教院衛手版内に記憶 と、第1条送年数によって鉄送されてきた通信制御信頼 手段が記憶している通信制御情報とを比較する比較手段 って物語されてきた通信総管指案と、通信影響指集記録 **億している通信制御信報信信手段と、第1帳送手段によ** だ、 をわがわる、 通信医療企業 やがなへ かっし 第以上活 【0195】それゆえ、上記別求項1記載の構成による **記載の画像形成装配の構成において、画像形成装配木件** 【0194】請求項2記載の西領形成装置は、請求項1 **東信仰を送信することができるという効果を奏する。** ×

信制御信報記憶手段内の通信制御信報を更新する構成で るかどうかを判断し、異なる場合には、上記更新手段 段内に記憶されている電話番号が、第1転送手段によっ のうちの過程的の名前が上記通信服御哲権記載中収れに 第1 伝送手段によって転送されてきた上記通信制通信権 記機の顕像形成装置の構成において、上記比較手段が ら伝送されてきた知味弊号に乗更することによって、通 手段に記憶されている電話番号を、外部操作場太機器が て転送されてきた通信製御情報のうちの街話着号と異な 記憶されており、かつ、対応する、通信制御信報記憶手 上記の送信先の名前に対応する、通信監御情報記憶

【0197】それゆえ、上記踏束項2記載の構成による 8

効果に加え、塩活板データの作成処理の損額化をより-

形成装置本体において、上記通信制御情報記憶手段が、 【0198】請求項4記載の画像形成裝置は、請求項2

電話番号と送信児の名前とともに、その電話番号と送信 **資行機や通信監護信後に荷手模に消弱がかることによる** りに、外部操作指求機器によって転送されてきた適信制 安した、通信記録音像活費半聚業の通信録書音集の代わ よって伝送されてきた通信制御情報の送信先の名前と一 うが第しい場合には、上記更新手段が、第1転送手段に 第1転送手段によって転送されてきた通信制御指律のほ 信手段内に記憶されている経緯情報との新旧を判断し、 に含まれる上記接線前報と、対応する、通信製御情報表 第1 指送手段によって包送されてきた上記通信制御情報 の名前とが一致するか否かを判断し、一致したときに、 名前と通信制御信報記憶手段内に記憶されている送信先 段によって転送されてきた上記通信制御情候の送信先の 経緯情報を記憶しており、上記比較手段が、第1転送手 先の名詞との組み合わせからなるデータの新しさを示す **ポテ経時情報を特別する経緯情報特別手段を備え、画像** 送信先の名詞との結み合わせからなるデータの難しさを 記載の動像形成装置の構成において、外部操作指末機器 通信制御信報を設定すると、上記通信制御信頼の中 電話番号と送信先の名前とともに、その電話番号と

層防止できるという効果を繋する. 効果に加え、追加機データの作成処理の複雑化をより 【0199】それゆえ、上記請求項2記載の構成による て、通信制御信報記憶手段内の通信制御信報を更新する

【0200】端米級5治療の阻棄形成機関は、端米級1

効果に加えた、より多種多様の函数を用いた容易から出 【0201】それゆえ、上沼野米項1記載の構成による する画像療定手段とを備えている構成である。 処理を行う関係情報とすることによって関係情報を確定 受信手段と、国像受信手段が受信した画像情報をデータ 記画像信仰を装置本体へ転送する画像転送手段とを描 が、西保信報を発生させる道點画像情報発生手数と、上 記載の面像形成装置の構成において、外部機作端末機器 西伽形成装置本体が、上記画像情報を受信する画像

道に上記データ処理を行うことができるという効果を表

【0196】請求項3記載の衝像形成装置は、請求項2

1 仮送手段によって仮送されてきた解御情報を受信する **巧や、めのかりめ活動したいる模型指案活動手収と、複** 情報を順線形成装置本体に転送する第1転送手段を有す 作過水機器で設定可能な範囲を示す設定可能範囲との対 操作過大概報に現在の信報である概塑信機と、各外部機 る外部操作端末機器を備え、画像形成装置木体が、外部 一夕処里接置において、直接形成を延伸するための超差 に出しいて西侯を形成する西侯形成技匠木体を備えたデ 【0202】請求項6記載の画像形成装置は、画像情報

> 信報記載手段が記載している設定回報循題を認みだすこ 別信報とを比較し、それが一致すれば、対応する、識別 出した識別情報と、識別情報記憶手段が記憶している器 情報があればそれを抽出する抽出手数と、抽出手段が抽 操のうち、設定司衙範囲判定手段が判定した外部操作器 定可確機関を判定する設定可能機関判定手段と、制御指 とによった、超線指揮を表述した外部操作端米模器の設 報を信送した外部操作機未販路の識別情報を探し、構別 第1受信手段と、第1受信手段が制御情報を受信する 第1爻信手段が支信した影響情報の中から、影響作

ずに占有することがなく、作業効率が向上するという効 指えている構成である。 【0203】それゆえ、長時間画像形成装置を動作させ

択することによって、脚御情報を確定する確定手段とを て顕像形成装置木体を制御するための制御情報のみを選

末機器の設定可能範囲に応じて、実際にその俳優に従っ

繋が容易になるという効果を要する。 [0204]また、手間が多くかからないので、設定的

外部操作編末数器を用いることによって不用側に面像形 という効果を要する。 成装四木体の重要な設定が変更される不具合が減少する 【0205】また、一般の使用者が一般の使用のための

作婚末機器に転送する第2転送手段とを備え、外部操作 作判定手段と、動作判定手段の判定に基るいて、動作可 情報に基づいて製器本体が動作可能か否かを判定する要 一夕処理機能において、面積形成を影響するための影響 に払んいて画像を形成する画像形成装団本体を備えたデ 御手段と、動作不可能な場合は、上記御御情報を外部権 可能な場合は動作しないようにデーク処理を制御する制 能な場合は動作するようにデータ処理を制御し、動作不 た上院選挙指領を第1受信手段が受信すると、その制御 5第1受信手段と、第1信送手段によって報送されてき 佐送手段によって佐送されてきた上記制算情報を受信す 5外部操作端末機器を備え、直復形成接数本本が、第二 信報を開催形成接頭木件に指述する第1指述手段を有す 【0206】指状項7匹戦の直復形成装置は、直復信息

を動作させずに占有することがなく、作業効率が向上す るという効果を要する。 【0207】それゆえ、長時期、その函像形成装置本件

協等指摘を受信する第2受信手段を据えている構成であ 婦末機器が、第2転送手段によって転送されてきた上記

繋が容易になるという効果を奏する。 [0209] また、 【0208】また、子間が多くかからないので、設定性 西保形成装置木体で使用できる機能

とができるという効果を奏する。 画像形成装置木体が膨動作する不具合を解消するこ を改更した場合に、道陽様件によった機能を設定した

特属年8-251373

隔した外部操作機末機器側にいるにもかかわらず、画像 ことができ、直復形成作業の薬作在が向上するという必 形成装置本体が動作できない相詢情報を知るようにする

【0211】請求項8記載のデータ処理装置は、請求年

(20)

送手段を制御する転送制御手段とを備えている構成であ 御情報を画像形成装置本体に転送できないように第1帳 三指数活動手段と、不用指案活動手段が活動したいる部 が、第2受信手段が受信した上記製御信報を記憶する不 7 記載のデータ処理装置において、外部操作端末機器

がより向上するという効果を奏する。 に防ぐことができるので、外部操作機未養弱での操作者 に加え、動作不可能な制御内容を転送する不具合を未禁 【0212】それゆえ、請求項7記載の構成による効果

体の概略の構成を示す圧而図である。 【図2】図1の接り要本枠の数路の再成を示す圧圧図に 【図1】 休院駅の一候補仮のアンタラ接昇機の模算機体 図面の簡単な説明

路の構成をボす平面図である。 【図4】図1の模写機本体のシステム部の機略の構成を 【図3】図1の複写要本体に備えられた操作スネルの概

ボキブロック図である。 【図5】図1の微写影本体に対して用いられる読術指別

をボヤブロック図である。 装置の概略の構成を示す圧面図である。 【図1】図5の携帯端末装置のタッチパネルの表示例を 【図6】図5の携帯端末装置のシステム部の概略の構成

ボナ平面図である。 ボす平面図である。 【図8】図5の携格端末装置のタッチパネルの表示例

間で送受信されるデータの構成を示す説明図である。 示す平面図である。 【図11】図1の模写機本体および図5の携帯端末装置 【図10】図1の微り微木体と図5の栽培処大淡町との 【図9】図5の装格橋大袋園のタッチパネルの表示図る

を用いて開像形成を制御する処理の手順をボインロータ 【図12】図1の装写機本体および図5の鉄帯端末装置 **ヤートである。** を用いて画像形成を解算する処理の手順をボヤフローチ

を用いて直像形成を影響する処理の手順を示すフロータ ヤートである。 **や用いた直線形成や短律する処型の手機を斥すフロール ナートである** 【図14】図1の損写機本体および図5の携帯端末装置 【図13】図1の後写機本体および図5の携帯端末装置

【0210】また、操作者が、関係形成装置本体から道 3 を用いて 国債形成を制御する処理の手類をポオフロール 【図15】図1の後写機本体および図5の携帯線末装置

2

を用いた直接指案処理中型をボナフローチャートかち 【図17】図1の模写機本体および図5の供格端末装置 【四16】図1の複写機本体を用いた回復情報処理手帳

【図19】図18の後写機本体のシステム部の概略の# 機木体の機器の構成やボー圧而図けある。 【図18】本県別の他の実施室のデジタル複写機の複写

延米徴組の数局の表現や水牛用用図りめる。 成をボすブロック図である。 【図21】図20の携帯端末装置のシステム部の機器の 【図20】図18の張字畷本体に対して用いられる供格

【図22】図20の携帯端末装置の動作手順を示すフロ **構成をボナブロック図れめる**

【図24】図18の雑字機本体および図20の携作端末 【図23】図20の携帯編末装置の動作手順を示すフロ

装配を用いて画像形成を制御する処理の手順を示すフロ 【図25】図18の模字機本体および図20の機帯線は -チャートである。

接回を用いて画像形成を回御する処理の年間を示すフロ

装置を用いて画像形成を削御する処理の手間を示すフロ 【図27】図18の模写機本体および図20の模帯端末 ーチャートである。 【図26】図18の模写機本体および図20の携件機才

装配を用いて面像形成を回避する処理の手懸を示すフロ

の数斗業を存の配路の数路の高級を行う出回回である。 【図29】図28の核写機本体の概略の構成を示す正直 【図28】本発見のさらに他の技術医のデジタル集分表

の概略の構成を示す解剖図である 【図30】図28の模字機本体に備えられた操作パネル

【図32】図28の複写機本体に対して用いられる供格 を示すプロック国である。 【図31】図28の製料機本体内部の回路の数路の構成

指来接触の概略の構成を示す圧症因いめる。 【図34】図28の様写機本体および図32の携帯像オ 構成を示すプロック因である。 【図33】図32の携帯編末装置のシステム部の模略の

顔を示すフローチャートである。 装置を用いて画像形成および送受信を制御する処理の手

機本体に通信影響情報を記憶させる処理の手順を示すフ 【図36】図32の携告編末装置を用いて図28の複写 【図35】図32の携帯端末装置を用いて図28の複写

機本体に通信制御信報を記憶させる処理の手順を示すフ

8

20

機本体に通信影響情報を記憶させる処理の手順を示すつ 様本体に通信制御情報を記憶させる処理の手順を示すフ 【図37】図32の鉄器端末装置を用いて図28の製当 【図38】図32の携番端末装置を用いて図28の製写

ボギフローチャートである。 装置を用いてファクシミリ兩像を送信する処理の手順を ローチャートである。 【図39】図28の模写機本体および図32の携帯端末

【図40】図28の振写機本体および図32の携帯端末

ボギフローチャートである。 娘団を用いてファクシミリ戦後を送信する処理の手順を ボャンローチャートである。 装置を用いてファクシミリ顕像を送信する処理の手順を 【図42】図28の模写機本体および図32の携帯端末 【図41】図28の模写機本体および図32の機構編末

装置を用いて国像俗報を確定する処理の手順を示すフロ 【図43】図28の被写機本体および図32の模様端末 **ーチャートためる。** 装置を用いて面像情報を確定する処理の手順を示すフロ

「独別の条件」 被与基本年 (国保形成装置本年

ーチャートである.

指末装置木体 報告パネル 1 R 発受光部 (第 1 受信手段、頻像受信手段) 中央劉涛部(設定可能範囲判定手段、抽出手

4 3 段、確定手段、回復確定手段) タッチパネル (道脳画像情報発生手段) 携指组术装置 (外部操作指示模器) RAM (織別前報記憶手段) 1 R 発受光郎 (第1 転送手段、画像転送手段)

202 201 8 7 8 1 1 R 制御部(第 1 索法中数、国象索法中数 多市ベルラ 被导感本体 (高级形成按图本件)

276 Z 270 241 208 203 IR発受光部 (第1标送手段、第2受信手 **统带端末装置 (外部操作檔末機器)** 中央制御部(動作判定手段、転送制御手段) 指末装置本体 1 R 亮曼光郎(第 1 曼信手段、第 2 転送手

400 287 æ 283 281 1 R 発受光郎(第 1 受信事政、函像受信手 **後り後木体(西像形成装置木体)** IR制御部 (第1転送手段、第2受信手段) RAM(不可情報記憶手段 制御部 (転送制御手段)

> 8 573 503 419 **カッキパネラ (遠隔直接指数を出手板)** 携带编末装置 (外部操作编末接踪) 通信結合發音活動的 (通信宏等连接活物) 制御幣(通信制御手段、比較手段、更新手 場合パネラ 4 B 25 581 576

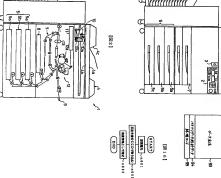
1 R 発受光郎(第 1 転送手段、画像転送手

(22)

制御郎(経緯指報付加手段、日時情報付加手

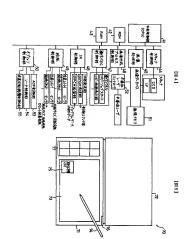
1 R 割御部 (第 1 転送手段、函像転送手段 R AM (通信影響情報記憶半段)

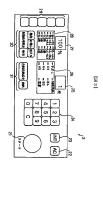
18 ID参号(端末級差テータ) 7-9×4 図10 **8**1 6

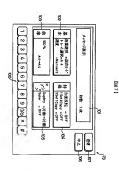


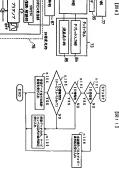


(23)

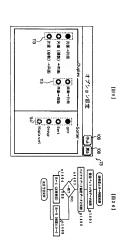


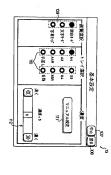






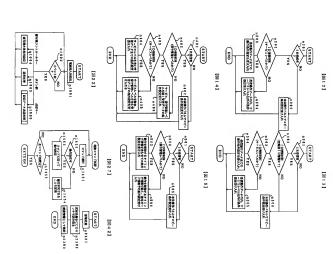
(24)





[88]

(25)

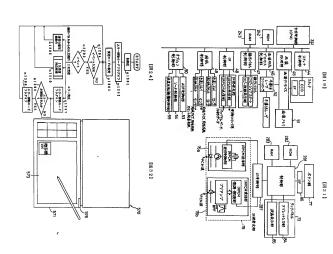


特閣年8-251373

(26)

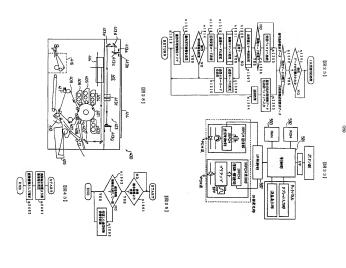
(27)

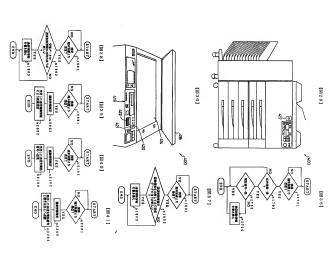
RETURN



213/3

特別年8-251373





(30)

